

COIL DAMPER UNIT

# Advox

アドヴォクス

## 取り付け / 取り扱い説明書

- ◆ お取り付け及びご使用前に必ず本書をよくお読みください。
- ◆ 本書は大切に保管し、本製品を譲渡する場合は必ず本書も譲渡してください
- ◆ 販売店殿 本商品お渡しの際、保証書（本書に添付）に販売店印の押印、装着時走行距離および購入日を記入してください。押印および記入がない場合は保証対象外となりますのでよろしくお願ひします
- ◆ ユーザー登録ハガキは必ずご返送ください。ご返送ない場合は保証対象外となる場合があります

## 目次

[1]	はじめに	3
[2]	構成部品	3
[3]	一般的な注意事項	3
[4]	分解部品図	4
[5]	取り付け方法	5
[6]	車高調整について	8
[7]	ダンパーガスの抜き方	9
[8]	ホイールアライメント基準値一覧	10
[9]	スプリング脱着について	11
[10]	アッパーサポートブッシュ交換	12
[11]	オーバーホールについて	13
[12]	補給品の対応について	13
[13]	補給パーツ注文書	14
[14]	ADVOC修理申込書	15
[15]	保証について	16
[16]	セルシオ(UCF10.20) フロント脱着構成図	17
[17]	セルシオ(UCF10.20) リヤ脱着構成図	18
[18]	セルシオ(UCF30) フロント脱着構成図	19
[19]	セルシオ(UCF30) リヤ脱着構成図	20
[20]	アリスト・マジェスタ(#ZS14#、15#) フロント脱着構成図	21
[21]	アリスト・マジェスタ(#ZS14#、15#) リヤ脱着構成図	22
[22]	アリスト(JZS16#)・マジェスタ(#ZS17#) フロント脱着構成図	23
[23]	アリスト(JZS16#)・マジェスタ(#ZS17#) リヤ脱着構成図	24
[24]	クラウン(JZS15#) フロント脱着構成図	25
[25]	クラウン(JZS15#) リヤ脱着構成図	26
[26]	ソアラ・スーブラ(JZZ3#・JZA80) フロント脱着構成図	27
[27]	ソアラ・スーブラ(JZZ3#・JZA80) リヤ脱着構成図	28
[28]	ソアラ・SC430(UZZ40) フロント脱着構成図	29
[29]	ソアラ・SC430(UZZ40) リヤ脱着構成図	30
[30]	マーク・チェイサー・クレスト(JZX9# 10#)フロント脱着構成図	32
[31]	マーク・チェイサー・クレスト(JZX9# 10#) リヤ脱着構成図	33
[32]	クラウン(#ZS17#除くマジェスタ)・マーク・ベロッサ(JZX11#)・プログレ・ブレビス(JCG1#)・アルテッツァ・ジータ(##E1#) フロント脱着構成図	34
[33]	クラウン(#ZS17#除くマジェスタ)・マーク・ベロッサ(JZX11#)・プログレ・ブレビス(JCG1#)・アルテッツァ・ジータ(##E1#) リヤ脱着構成図	35
[34]	クラウン(GRS18#)マークX(GRX12#)GS(GRS19#)IS(GSE2#)フロント脱着構成図	36
[35]	クラウン(GRS18#)マークX(GRX12#)GS(GRS19#)IS(GSE2#)リヤ脱着構成図	37
[36]	マジェスタ(UZS186) フロント脱着構成図	38
[37]	マジェスタ(UZS186) リヤ脱着構成図	39

## [1] はじめに

このたびは、コイルダンパーユニット「アドヴォクス」をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。本製品の取り付けを以下に記します。正しい取り付けをお願いいたします。本取り付け説明書は、「自動車整備技能検定3級合格者」程度の方を対象に記述してあります。用語等で不明な点は、整備解説書等をご参照ください。なお、取り付け等に関するお問い合わせは、当社技術までお問い合わせください。本製品の内容及び付属品は、改良のため予告無く変更することがございますのでご了承ください。本取り付け説明書は各車両の脱着分解図を掲載してあります。更に詳しい内容については、各車両の修理書を参照して下さい。

## [2] 構成部品

本品は以下のパーツで構成されています。欠品等を確認して下さい

### 1. コイルダンパーユニットASSY 車両1台分(フロント2/リヤ2)

◇ 前後左右の確認は、ユニットのラベルに打刻されている品番によりおこなってください

打刻品番	車両への取り付け位置
48100-T*****	フロントRH
48200-T*****	フロントLH
48300-T*****	リヤRH
48400-T*****	リヤLH

### 2. エアチューブプラグ×4(エアサスペンション車のみ)

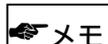
### 3. スピードセンサーハーネス(該当車両のみ)必要数

### 4. 「記載変更要領書」(エアサスペンション車のみ) エアサスペンション車は記載変更届の手続きが必要です(詳細は要領書を参照願います)

## [3] 全般的な注意事項



1. 本製品の「ダンパー部」には内部に窒素ガスを封入してあるため、絶対に分解しないでください。破裂の危険があります。
2. 本製品を廃棄する場合は、ガスを抜いた後廃棄してください。ガスの抜き方については後述の方法[7]を参照して下さい
3. 本品を絶対に火の中に入れてください。破裂のおそれがあります。
4. 車両をジャッキアップ後は、必ずリジットラック等にて確実に車両を固定してください。
5. 取り付け後、数キロ走行した後に、ボルトの緩みやタイヤとボディとの干渉をチェックしてください。
6. 取り付け後は、ホイールアライメントの変化が生じる場合があります。アライメント不良は操縦安定性の悪化、タイヤの偏摩耗、タイヤのパターンノイズの増加などの悪影響を及ぼしますので、必ず適切なアライメント調整を行ってください。



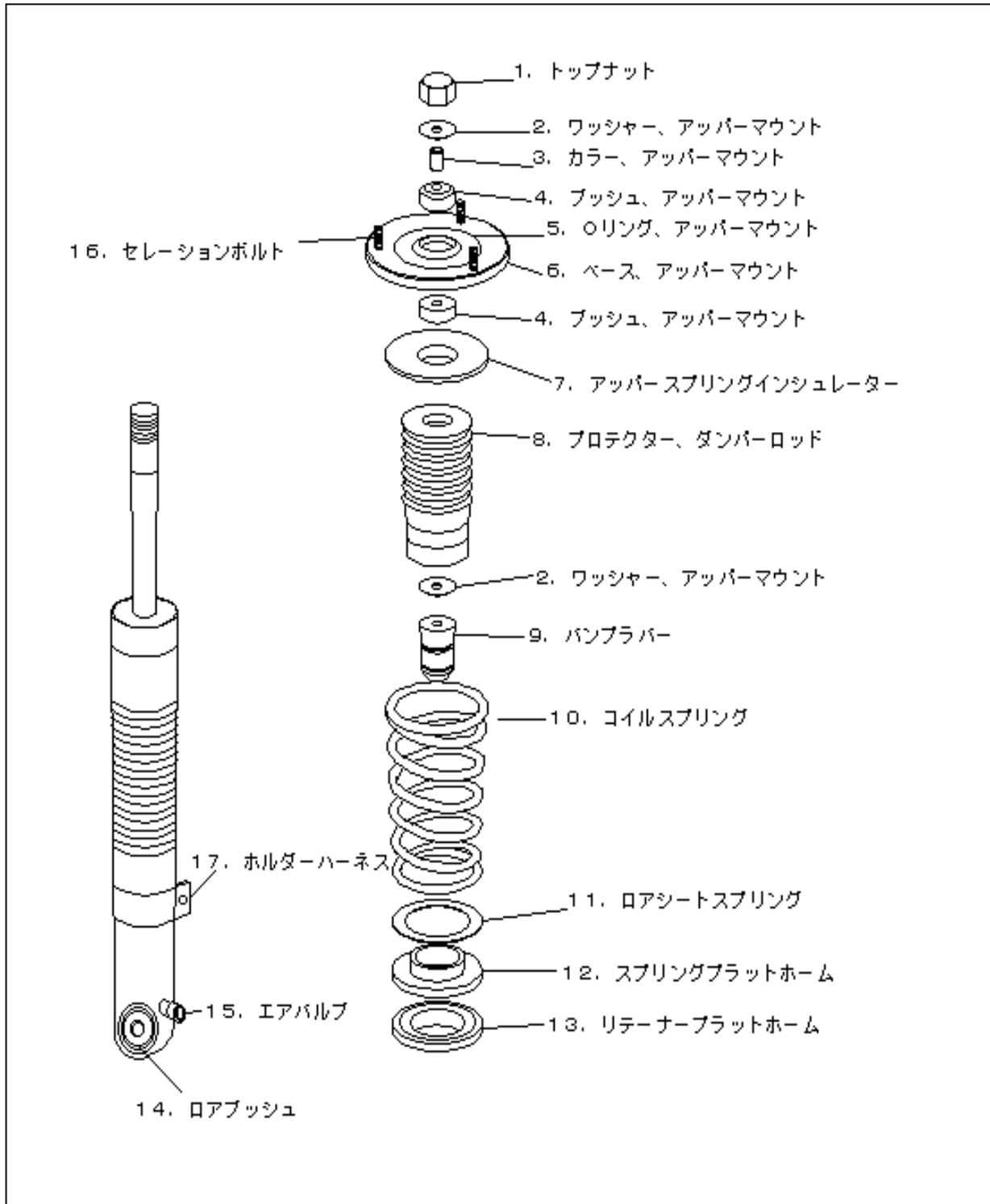
本製品は、操縦性と乗り心地を構造的に追求した結果、走行開始時(特に冷間の低速走行)に小さな打音(コトコトという音)やゴキッ音が発生する場合があります。走行には支障ございません。数分から数10分の走行後に消えますのでご了解下さい。

## [4] 分解部品図

補給部品取り寄せは、以下の分解部品図を参照してください。（詳細は[ 1 2 ]「補給品の対応について」をご参照ください）



車両への装着はA S S Yの状態で行ってください（分解した場合、また本説明書の指示と異なる調整した場合は、当社の設定値を確保できないため、クレームへの対応はできません）



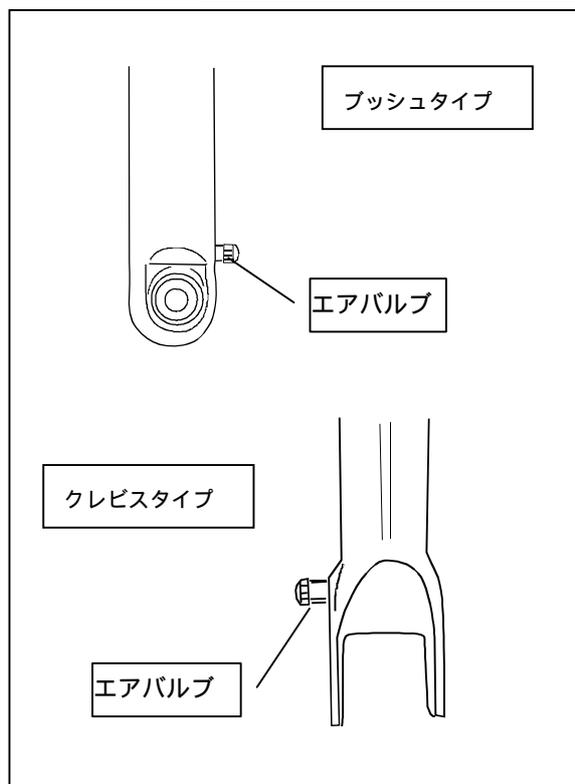
## [5] 取り付け方法

基本的な取り付け方法を以下に記します。詳細の脱着分解については各車両の脱着分解図を参照して下さい。また必要に応じて修理書をご参照下さい。

本製品は、出荷時に各車両に対して適正な車高及び性能を発揮できるように組み付けてあります。不都合のない限り、出荷時の状態で車両に装着して下さい

- ◇ 各車両の適合は、各モデルの一般的な車両において標準的な状態で行っています。一部車両重量が異なる車両（サンルーフ装着車など）は、車高等が多少異なります。

### 1 純正ショックアブソーバー/スプリング外し



各車両の脱着分解図を参照してショックアブソーバーとスプリングをASSYで取り外す

- ⇒ ボルトナットの脱着は必ず「トルク値が記載されている側」を締め/ゆるめすること

### 2 アドヴォクス取り付け

取り付け位置（前後左右）の確認

- 1) エアバルブの位置が下記のように becoming 取り付け（ユニット下端の形状により異なる）
  - ◇ 下端が「プッシュタイプ」 エアバルブが内向き
  - ◇ 下端が「クレビスタイプ」 エアバルブが後ろ向き
- 2) 取り付けは取り外しの逆の順で行う
  - ⇒ 脱着部品の締め付けは、必ず規定トルクで締め付ける（脱着分解図参照）

### 3 エアサスペンション車 追加作業

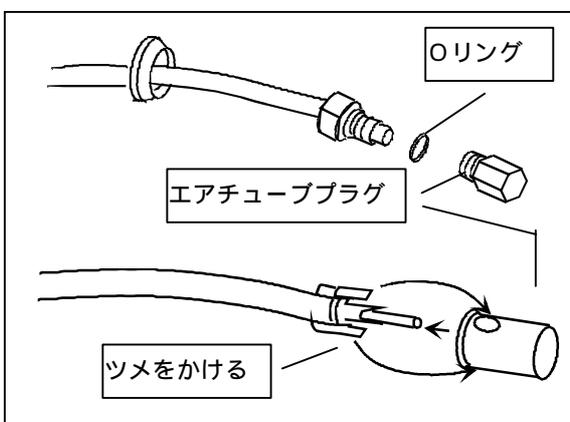
エアサスペンション車は以下の作業を行う

エアチューブプラグ取り付け

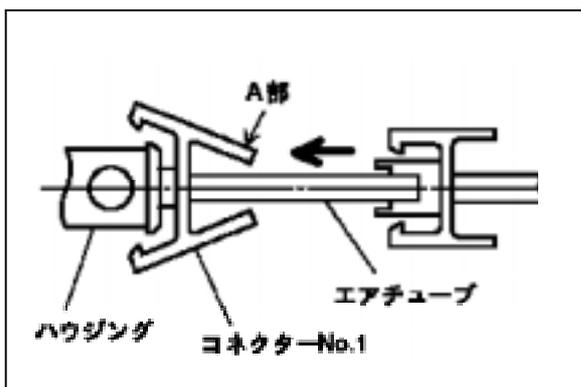
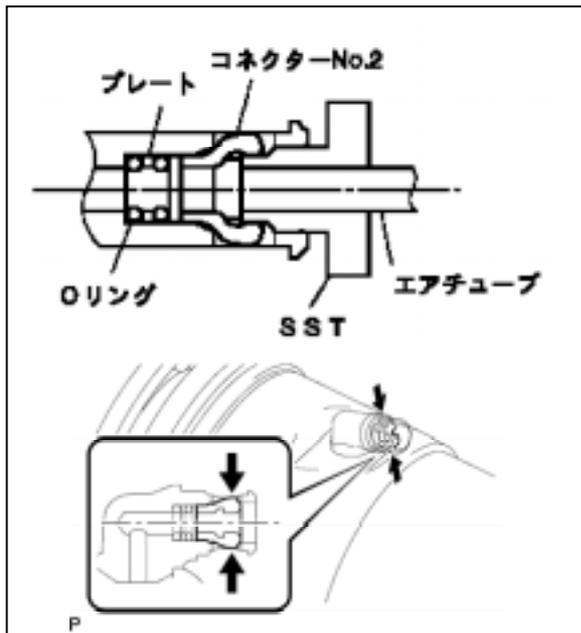
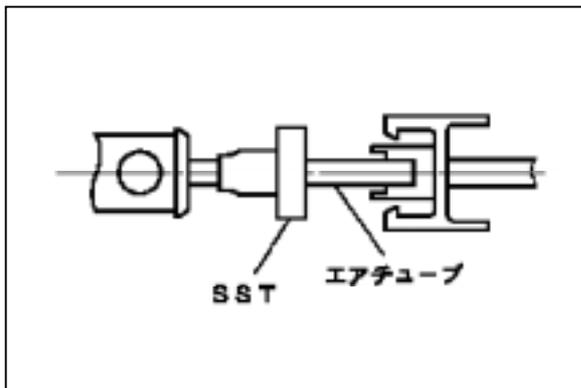
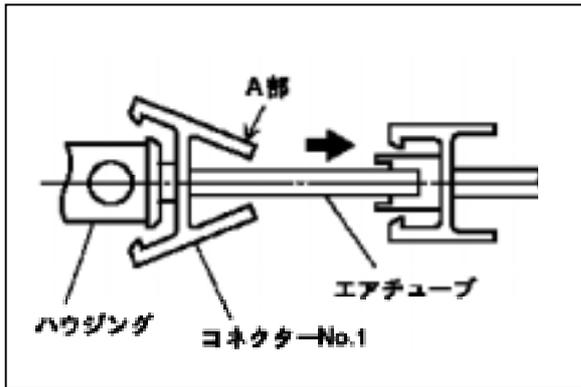
- 1) 4輪のエアチューブに付属のエアチューブプラグを取り付ける  
（UCF31、UZS17#車については別紙参照）
    - ⇒ Oリングは再使用する（ねじ込みタイプ車）
- ヒューズはずし

- 1) 車両取り扱い説明書を参照して、「エアサスペンション」のヒューズをはずす

- ◇ 車種によっては、はずすと「コーションランプの点灯」や「不具合インジケータの表示」がでる場合があります。その時はヒューズをはずさず走行する事も可能です。その場合エアサスペンション



ポンプが始動時10分ほど作動しますがその後停止します。車種によってはインジケータランプが点灯しつづける場合があります。



## 4 エアサスプラグ取り付け要領(UCF31、UZS17、18系車両)

上記車両のエアサスプラグは以下の要領で取り付けてください。

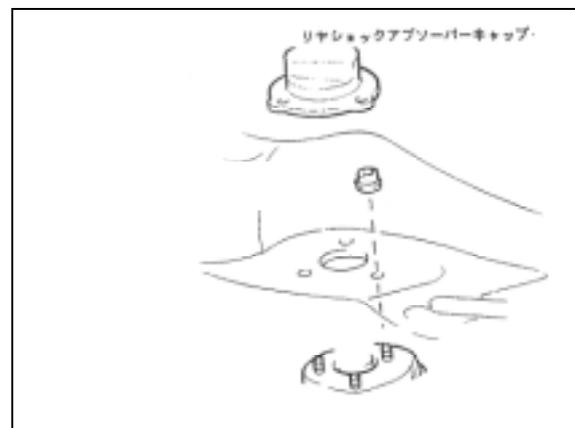
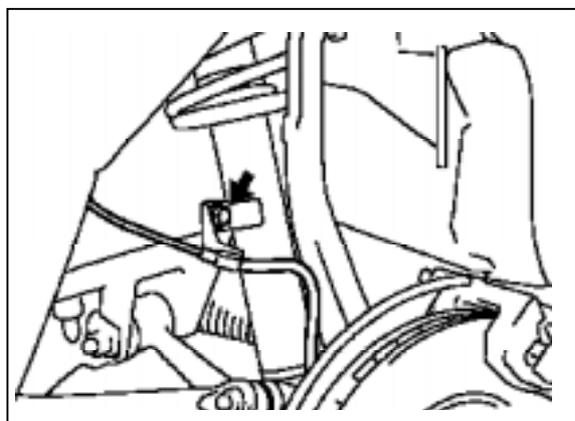
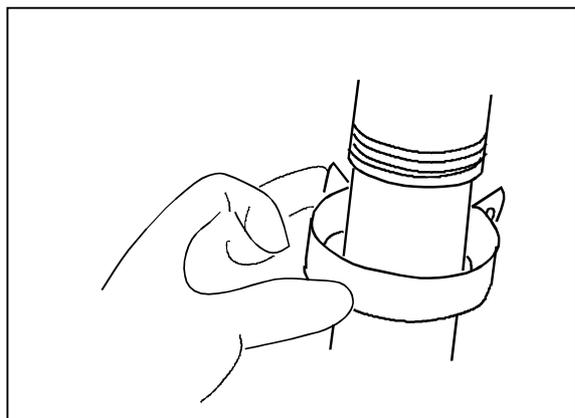
⇒ ジャッキアップをしたままエンジンを始動しないこと

純正チューブ外し

- 1) コネクターNo. 1のA部をつまみハウジングから引き抜く
  - 2) SST(09730-00010)をチューブにセットする
  - 3) SSTをハウジングに差し込み、ハウジング内のコネクターNo. 2のツメを広げる
  - 4) SSTを差し込んだ状態でチューブを引き抜く。
- チューブを無理に引っ張らない
- 5) ハウジングの丸穴から、マイナス薄刃ドライバーを使用してコネクターNo. 2をハウジングから取りはずす。

⇒ コネクターを反転させながら引き出す  
エアサスプラグ取り付け

- 1) コネクターNo. 2をエアサスプラグに挿入する
- ⇒ Oリングは組み込み済み  
⇒ チューブ先端にラバーグリスを塗布する  
⇒ エアチューブをプラグに差し込む  
⇒ ハウジングのポート(横穴)とコネクターNo. 1のツメの位相を90°ずらして取り付ける。



## 5 スピードセンサーケーブル用ホルダー取付け

「スピードセンサーケーブル」が純正ショックアブソーバーに装着されている車両にのみ梱包しています。ダンパーユニットを車両に装着した後に装着してください

### スピードセンサーホルダー取付

1) ホルダーを広げてダンパーユニットの純正と同じ位置に取り付ける

⇒ 広げすぎないように注意する

1) スピードセンサーケーブルをホルダーに純正ボルトを再使用し装着する

⇒ ジャッキアップされている状態でケーブルがのびきらないこと

⇒ ステアリングを左右に切り、ケーブルが干渉しないことを確認する

### 注意

**全ての車両についてフロントリヤともに純正ショックアブソーバーキャップは装着しないでください(左図)**

アッパーサポートセレーションボルト ([ 4 ] 分解部品図中 No , 16 ) の締め付けトルクは以下の通り

M 8 セレーションボルト 29N.m(300Kgf.cm)

M 10 セレーションボルト 61N.m(620Kgf.cm)

## 6 ホイールアライメント調整

本製品を装着した場合、ホイールアライメントが変わるため、必ずホイールアライメントを測定・調整する  
基準値は[ 8 ]基準値一覧を参照のこと

## 7 ヘッドライト光軸調整

本製品を装着後、前後の車高が変化することがあるため、ヘッドライトの光軸を測定・調整する

## [6] 車高調整について

本製品は、装着されているスプリングの一定程度の範囲内で車高を調整することができます。

### 1 出荷時の状態

本製品は出荷状態で以下のようにセットしてあります。

ノーマル状態に対し、20～25mmダウンを目標にセットアップ済み

- 但し、標準車空車状態での数値です。
- 標準車との車両重量の違い等により多少の差が発生します。
- また、スプリングインシュレーター等ゴム製品の初期沈み込みを考慮し、装着直後は多少高い設定となります（1週間程度ゴム部分に荷重がかかったから目標値となるようになっていきます）。

### 2 車高調整の必要な場合

以下の場合には調整が必要です（いずれも装着後1週間程度たってから測定して下さい）。但し車両側で、「不揃いの原因」があり得ますので、先にそれを修理してください

- 左右輪の差が著しく異なる場合
- 前後の差が著しく異なる場合

### 3 車高について

装着されているスプリングの一定程度の範囲内で車高を調整することができます。

- 下げ方向：ダンパー部で5mm以下
- 上げ方向：ダンパー部で10mm以下

上記数値はダンパー部での数値で、タイヤ部分では約1.2～1.9倍程度変わります（車両および前後により異なる）

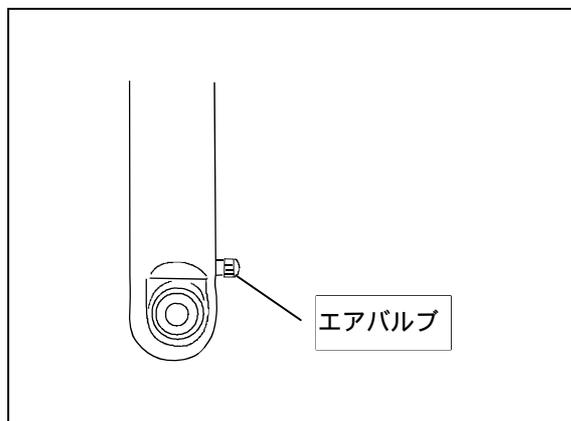
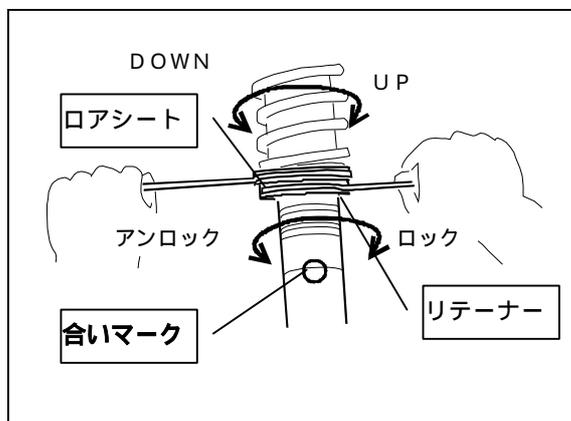
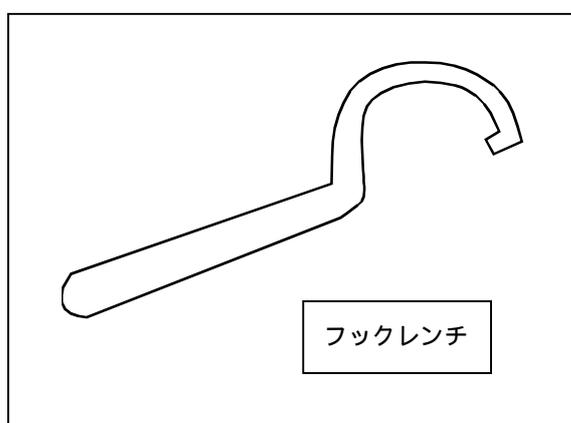
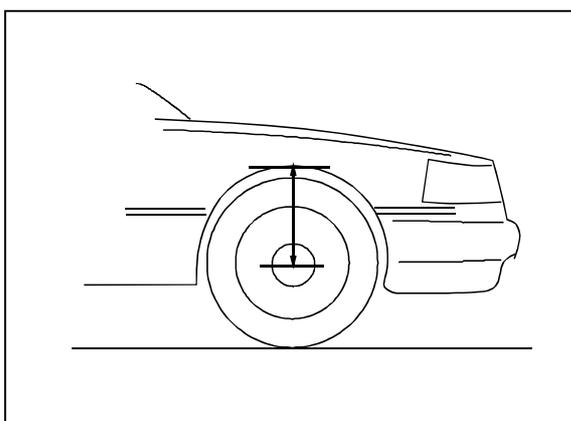


下げ方向に調整した場合、ストロークが減少します。この状態での走行は、操縦安定性が損なわれ場合がありますので充分ご注意下さい。また過度の入力があった場合はバンブラバーやプロテクターなどが破損するおそれがあります。

また、ジャッキアップ状態でスプリングが遊ばないこと（手で強く回して回らないこと）を確認して下さい

上げ方向に調整した場合、スプリングを押し縮めることになり、スプリングシートが回りにくいためご注意下さい。スプリングシート及びリテーナーを回転させるとき、ダンパーボディがともに回転すると、オイル漏れガス漏れの原因となります。

次ページの調整方法の注意をよく読んで作業してください。



## 4 車高調整方法

車高を調整する方法は以下の通りです。

### 事前車高の確認

- 1) 車両を水平な場所におく
- 2) 上下方向に充分ゆすり車両を落ち着かせる
- 3) ホイールの中心より、フェンダーハウスの最下端までの寸法を測定する（4輪とも測定する）

### 車高の調整

- 1) 車両をジャッキアップし、タイヤをはずす
- 2) フックレンチ(または相当品)を2本使用して、ロアシートリテーナーをゆるめる
  - ⇒ フックレンチは市販品をご使用ください  
75～85mm用×1  
85～92mm用×1
  - ⇒ **ネジ部の汚れを充分除去し潤滑剤を塗る**
  - ⇒ リテーナーをゆるめずにロアシートを回転させるとダンパーボディが回転し、破損するため充分注意する。ダンパーボディの合いマークがずれていないか十分注意する

- 1) ロアシートを回転させ車高を調整する  
1回転で2mm変化する(ダンパー部分で)
- 2) ロアシートリテーナーを締め付ける

### 車高の再確認

- 1) 再度車高を確認し合わない場合は を繰り返す

## [7] ダンパーガスの抜き方

ダンパーを廃棄する場合等は、以下の方法で充填されている「窒素ガス」を抜いてから廃棄して下さい。

**廃棄以外の場合は絶対にガスを抜かないください。**

- ⇒ 「窒素ガス」はそれ自体では可燃・爆発の危険はありません。また、吸い込んだ場合、人体への有害な影響はありません。

## 2 ガスの抜き方

- 1) エアバルブのキャップを回してはずす
- 2) 中のバルブ突起部を押し込みガスを抜く

## [8] ホイールアライメント基準値一覧

各車のホイールアライメントの基準値は以下の通りです。測定及び調整方法については修理書等を参照下さい

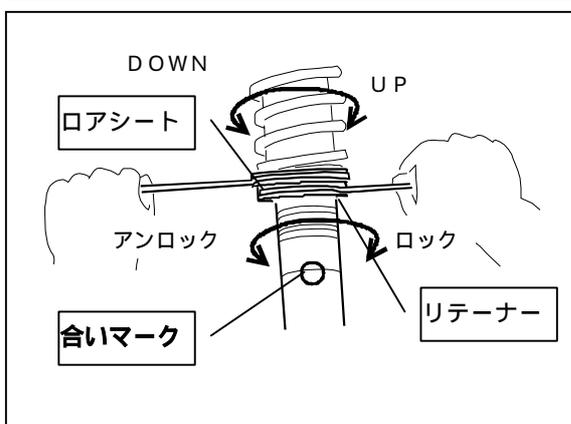
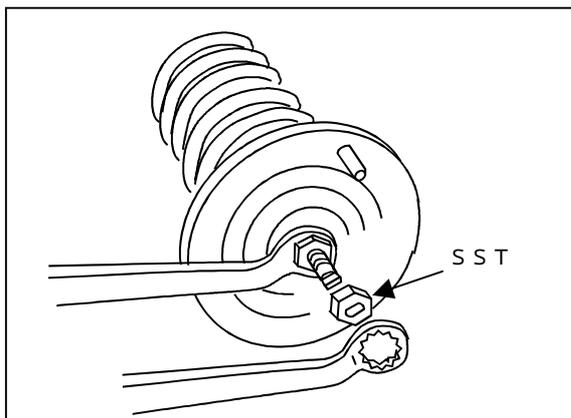


車高が下がった場合、トーはアウト側に、キャンバーはマイナス側になります。この状態での走行は直進安定性の低下や、旋回開始時の不安定につながります。必ず以下の基準値に調整して下さい

車両	型式	フロント			リヤ	
		キャンバー (度 分)	カスター (度 分)	トーイン (mm)	キャンバー (度 分)	トーイン (mm)
セルシオ	UCF1#	0°00'±30'	9°10'±30'	2±1	0°00'±30'	2±1
	UCF2#	0°20'±30'	6°55'±30'	2±1	-0°50'±30'	2±1
	UCF3#	0°05'±30'	6°45'±30'	1±1	-1°05'±30'	3±1
アリスト マジェスタ	#ZS14#、 #ZS15#	-0°30'±30'	7°20'±30'	0±1	-1°15'±30'	5±1
	JZS16#	-0°20'±30'	7°40'±30'	1±1	-0°55'±30'	1±1 4WS0±1
	#ZS17#		7°20'±30'		-0°35'±30'	2±1 4WS0±1
	#ZS18#	-0°15'±30'	7°25'±30'		-1°15'±30'	3±1
クラウン・ エステート	JZS15#	-0°05'±30'	5°45'±30'		1±1	-0°20'±30'
	JZS17# JZS17#W	-0°15'±30'	5°50'±30'	-0°30'±30'		
	GRS18#	-0°15'±30'	7°10'±30'	-1°00'±30'		3±1
ソアラ/SC	JZZ3#	0°00'±30'	2°55'±30'	1±1	-0°50'±30'	4±1
	UZZ4#	0°35'±30'	8°04'±30'	1±1	-1°20'±30'	3±1
スープラ	JZA80	-0°20'±30'	3°35'±30'	0±1	-1°35'±30'	3±1
GS	GRS19#	-0°25'±30'	7°25'±30'	1±1	-1°20'±30'	3±1
IS	GSE2#	-0°35'±30'	8°±30'	1±1	-1°10'±30'	3±1
マーク チェイサー クレスト ベロッサ ブリット	JZX9#	-0°15'±30'	6°00'±30'	1±1	-0°40'±30'	2±1
	JZX10#	-0°15'±30'	5°45'±30'	1±1	-0°40'±30'	2±1
	JZX11#	-0°15'±30'	5°45'±30'	1±1	TB-0°45'±30' NA-0°30'±30'	2±1
マークX	GRX12#	-0°20'±30'	7°15'±30'	1±1	-1°05'±30'	3±1
プログレプレビス	JCG1#	0°05'±45'	5°50'±45'	1±2	-0°30'±45'	2±1
アルテツァ・ ジータ	S・GXE1# ##E1#W	-0°30'±45'	6°05'±45'	1±2	-55'±45'	2±2

### 1 アライメント調整時の注意事項 (下記以外の詳細は修理書等を参考にすること)

- キャンバー・カスターの左右差は30分以内に調整する
- トーインの左右差は1mm以内に調整する
- キャンバー及びカスターが調整しても基準値内に入らない場合は、基準値に最も近い値に調整するとともに、左右差が極力ないように調整する
- ストラットバーによる調整ができない車種(JZS、JZX系車)の場合、ロアアームのカムでキャンバーカスターを調整しますが、その場合カスター調整を主として合わせ、カスターの左右差が極力ないようにする
- キャンバーおよびカスターの調整ができない車両は、点検のみおこなう



## [9] スプリング脱着について

必要によりコイルスプリングを脱着する場合は、以下の作業手順で脱着してください。

**注意**；アッパーサポートのナットをインパクトレンチでゆるめないこと。ダンパー内のナットがゆるみ、ダンパーが不良となります

### 1 スプリングはずし

ダンパーロット上端の2面巾をSST (XW99Z SP001) で固定し、上部のナットを3回転ほどゆるめる

- ゆるまない場合は軽くハンマーリングする  
フックレンチ等を使用してリテーナーをゆるめロアシートを下げる

- ⇒ 事前にロアシート位置を測定しておく
- ⇒ **ネジ部の汚れを充分除去し潤滑剤を塗る**
- ⇒ リテーナーをゆるめずにロアシートを回転させるとダンパーボディが回転し、破損するため充分注意する。ダンパーボディの合いマークがずれていないか十分注意する

- ゆるまない場合はリテーナーを真ちゅうパーや貫通ドライバーを使用して軽くハンマーリングする

トップナットをはずす

ワッシャー、アッパーサポートをはずす

スプリングをはずす

### 2 スプリング取付

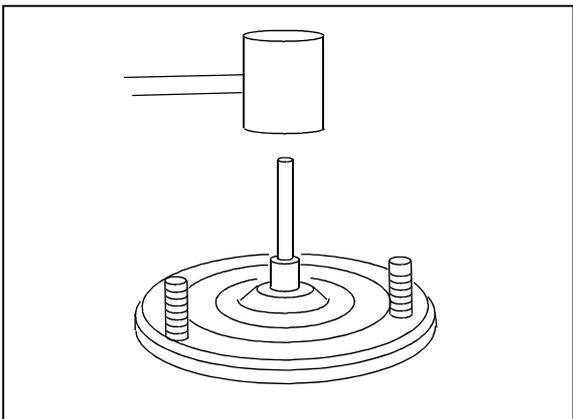
スプリング、ワッシャー、アッパーサポートA S S Y、ワッシャー、ナットを取り付ける

- ⇒ スプリングシートの切り欠きをスプリングの端面に合わせる

取り外しと逆の手順で組み付ける

- ロアシートの位置は測定位置まで巻き上げる

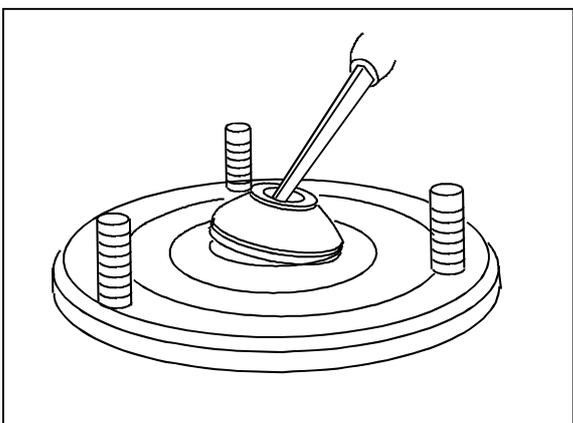
- ⇒ トップナット締付けトルク 78Nm(800Kg-cm)



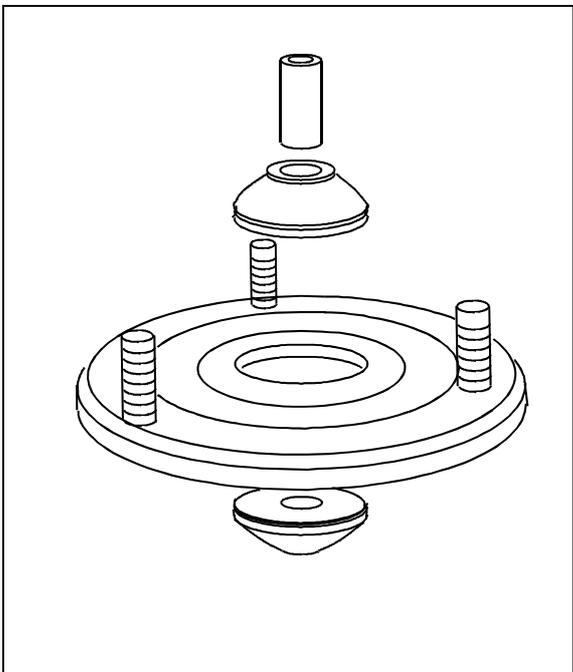
## [10] アッパーサポートブッシュ交換

アッパーサポートのブッシュを交換する場合は下記の要領で行ってください

- 1 アッパーサポートブッシュ外し
- 1) アッパーサポートブッシュカラーを”12”のソケットを利用して叩き出す



- 2) ドライバーなどでブッシュをはずす



- 2 アッパーサポートブッシュ取付
- 1) ブッシュをアッパーサポートの上下に取り付ける
  - 向きを間違えないこと(上下のブッシュは同じもの)
- 2) カラーを押し入れる

## [1 1] オーバーホールについて

本製品を未永くお使いいただくために、以下のようなときにオーバーホールを行い、性能の回復や維持をするようお奨めします。

- 事故などによりダンパーユニットに損傷があった場合
- ダンパー部よりオイルが多量ににじむ場合(微量の付着程度の場合は異常ではありません)
- また以下のような症状で、明らかに本製品に起因すると思われるようなとき(アライメント等他の要因を充分チェックして下さい)
  - 停止状態で1輪が著しく車高ダウンする
  - 車両がフワフワし始めたり、走行不安定になる

オーバーホールについてのお問い合わせは14ページの申込書に内容を記入の上、販売店、またはトムスにお問い合わせ下さい

## [1 2] 補給品の対応について

本製品の補給品対応については以下のとおりです。

- 事故等による片側破損(例;フロント左のみ破損) 左右セットにてお買い求め下さい
- 一部部品の破損等による交換 前記[4]部品分解図を参照の上、13ページ「補給部品注文書」によりご注文ください。詳細は販売店またはトムスまでご連絡ください。その際保証書に記載されている「品番、シリアルNo.」が必要となりますのでご用意ください

## [ 1 3 ] 補給パーツ注文書

下記申込書は2006年5月時点での価格です。価格は予告なく変更する場合があります。

本ページをコピーしご記入の上販売店にご連絡ください。

### Advox補給パーツ注文書

アルミ/スポーツ同一価格です(「スポーツ」の記載を除く)

全車種同一価格です

行 No.	品名	品番	使用数 (1本)	定価 (税込)	注文数
	アッパーブッシュリペアキット	XW00A-SP001	1	3,150	
1	トップナット		1		
2	ワッシャー、アッパーマウント		2		
3	カラー、アッパーマウント		1		
4	ブッシュ、アッパーマウント		2		
5	Oリング、アッパーマウント		1		
6	ベース、アッパーマウント(ボルトつき)	XWT4A-ZZZZ	1	17,115	
6	ベース、アッパーマウントスポーツ(ボルトつき)	XWT4A-09200	1	9,030	
7	アッパースプリングインシュレーター	XWT4M-ZZZ00	1	2,205	
	プロテクター/バンブラパーキット	XW00B-SP001	1	2,310	
1	トップナット		1		
8	プロテクター		1		
9	バンブラパー		1		
10	コイルスプリング	XWT4W-WZZZ	1	12,600	
11	ロアシート、スプリング	XWT4U-66850	2	399	
12	スプリングプラットホーム	XWT4S-54850	1	2,625	
13	リテーナープラットホーム	XWT4T-54750	1	2,625	
14	ロアブッシュ	XWT1W-ZZZZ	1	7,350	
15	エアバルブ	XWT4X-10810	1	840	
17	ホルダーハーネス	XW99J-ZZZZ	1	1,260	
	ロッドつかみ用SST(トップナット脱着時)	XW99Z-SP001	1	5250	

発注の際は以下をご記入の上、FAX(03-3704-9486)願います

品番シリアルNo. 48 - T - F/R

ダンパー本体のシールに記載してある「シリアルNo.」を必ず記入してください。F/Rに

#### ご発注者

住所  
お名前  
ご担当者  
TEL

お支払方法(いずれかに) 商品代引き お振り込み お取引口座にて その他

商品代引きは代引き手数料(¥300/1万まで、¥400/3万まで、¥600/10万まで)及び送料をご負担いただきます

お振り込みは、お振り込み確認ご発送させていただきます  
当社とお取引引きのある場合は、ご請求書を同封いたします  
いずれも送料はご負担願います(着払いまたはご請求)

トップナットの脱着などはSSTが必要な場合があります(詳細はトムスまで03-3704-6191)

[14] Advox 修理申込書

下記申込書は2006年5月時点での価格です。価格は予告なく変更する場合があります。

<b>Advox 修理申込書</b>			
お客様名	会社名 またはお名前	ご担当	
住所			
	TEL	FAX	
品名/ 品番	Advox  アルミタイプ 用 スチールタイプ	48000 - T  品番/シリアルNo.(ラベル品番 あとに記載) <b>必ずご記入ください</b>	
ご購入日/ご使用距離	年 月 日	約	Km 走行
予定納品日(お打ち合わせの上決定後記入)	月 日		
O/H希望品貴社発送日(リンク品希望の場合は不要) 上記予定納品日の3日前までに当社着をお願いします	月 日		

注; 品番/シリアルNoはAdvox本体のラベルを確認して必ず記入してください記入のないものはお受けできません

お支払い方法(いずれかに必ず をお願いします)			
商品代引き	お振り込み(予定日 月 日)	お取引口座にて	その他

ご依頼希望内容(該当欄に本数を記入してください)

	アルミタイプ		スチールタイプ	
	フロント	リヤ	フロント	リヤ
基本オーバーホール	本 定価15,750~	本 定価15,750~	本 定価21,000~	本 定価21,000~
仕様変更	本 定価21,000~	本 定価21,000~	本 定価26,250~	本 定価26,250~
リンクオーバーホール	本 定価18,900~	本 定価18,900~	本 定価24,150~	本 定価24,150~
リンク仕様変更	本 定価24,150~	本 定価24,150~	本 定価29,400~	本 定価29,400~
仕様変更時 スプリングレート 変更	本 定価12,600~	本 定価12,600~	本 定価12,600~	本 定価12,600~

◆ 仕様変更は必ず1台分でご注文ください

お申し込みは以下宛にご連絡ください。トムス営業部 TEL03-3704-6191FAX03-3704-9486

## [15] 保証について

本製品について製造上の不具合が発生した場合、下記の期間と条件に従ってこれを無償修理（保証修理）いたします。保証修理は部品の交換または補修により行います（製品の返品等はお受けいたしません）。また、取り外した不具合部品は（株）トムスの所有となります。

### 1 保証期間

保証修理の対象期間は以下の通りです

製品お買いあげ後1年間。但し期間内であっても装着後走行距離20,000Kmまで

### 2 保証の受け方

保証を受ける場合は、販売店に車両を持ち込み、保証書を提示の上保証修理をお申し付けください。原則として本製品を取り外し、（株）トムス宛ご返却いただき、トムスにて現品を修理しご返却いたします。新品との交換はご購入後2ヶ月以内（または期間内であっても装着後走行距離1,000Kmまで）といたします

### 3 保証をしない事項

上記保証期間内であっても、下記の場合は保証の対象外となります

本書に添付されている保証書に販売店押印、装着時走行距離および購入日の記載のない場合、または字句を書き換えられた場合

保証書の提示がない場合

使用損耗あるいは経年変化による劣化など、製造上の不具合と認められない場合

輸送中の不具合

レース・ラリー等通常の使用状態と異なる使用方法による破損・不具合

地震、台風、水害等の天災並びに事故、火災によるもの。また薬品、融雪剤、塩害、飛石等の外部要因によるもの

消耗品（バンブラバー、プロテクター、アッパーブッシュ、ロアブッシュ）の破損・不具合

本書に指示のある調整以外の調整をおこなった場合（例、規定以上に車高を下げたなど）

取り付け作業時や分解時のまちがい、不備

機能上影響ない「感覚的現象」および本製品特有の現象

- 1) 冷間走行時に発生するコトコト音、ゴキッ音（走行後数分及び数10分たって消えるもの）
- 2) 機能上差し支えないオイルにじみ
- 3) 走行フィーリングに関するもの（乗り心地、操縦性など感じ方に関するもの）
- 4) 本製品が主原因でない振動・ハーシュネス

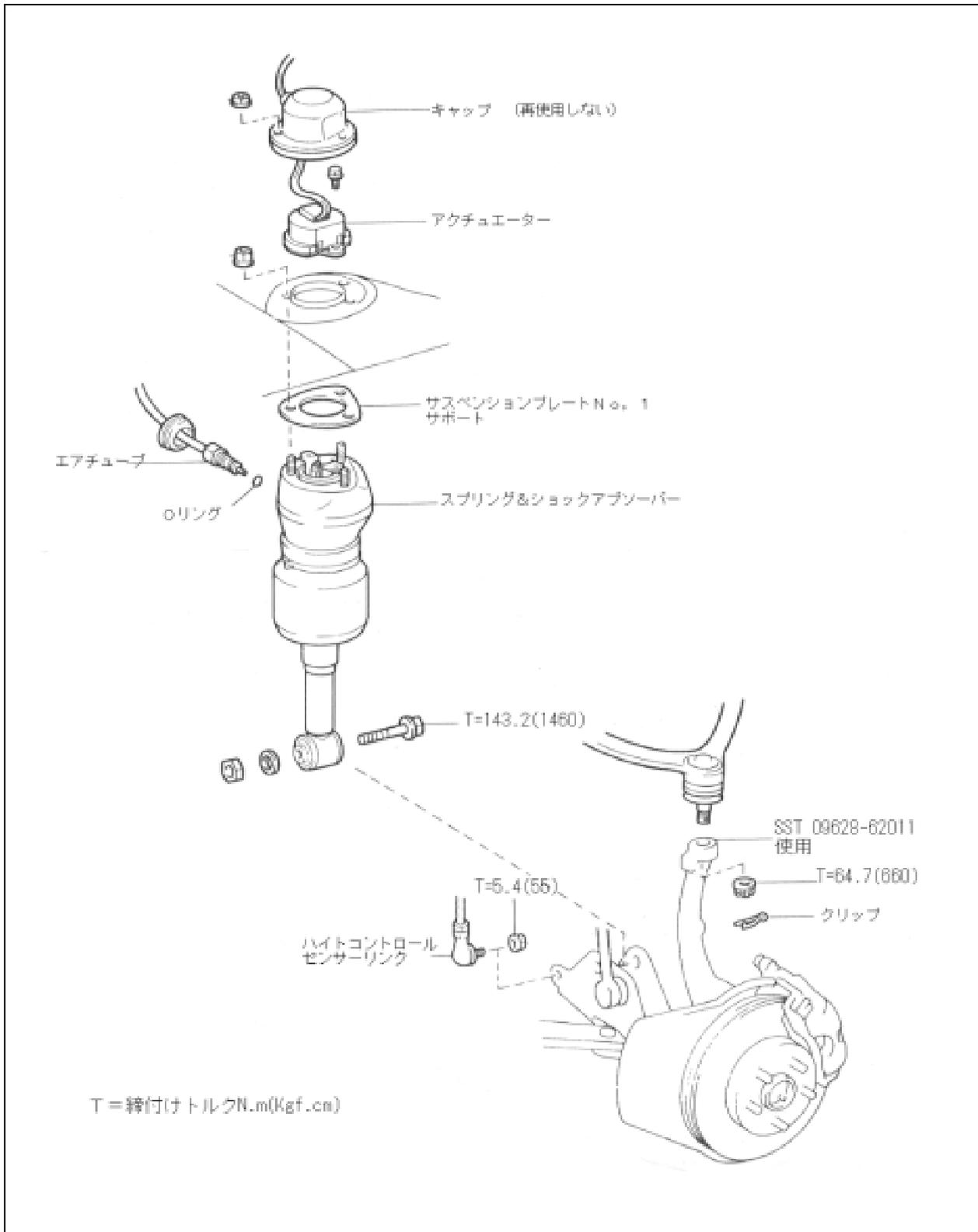
### 4 保証対象外費用

以下に示すものの費用は負担いたしません

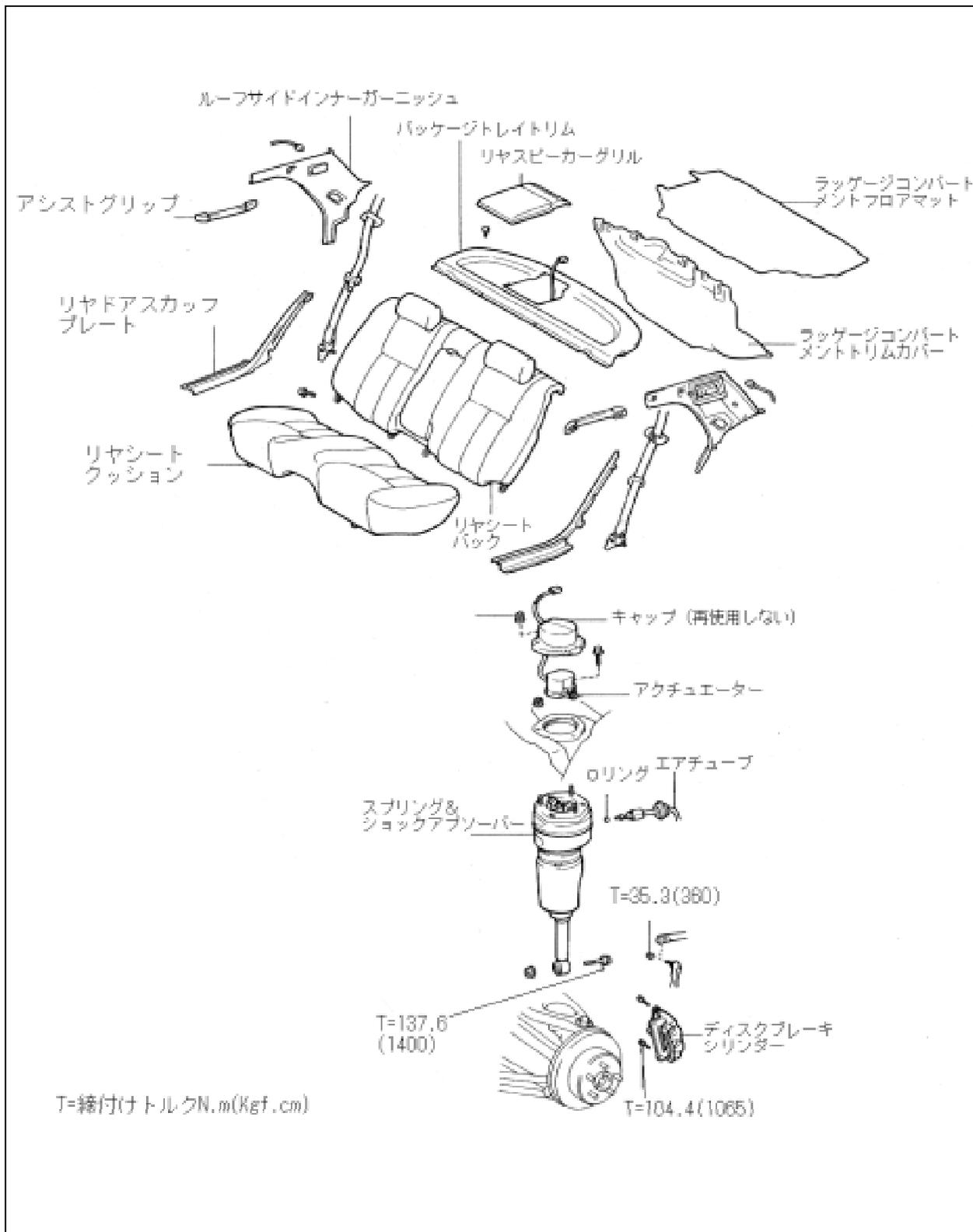
自動車を使用できなかったことによる不便さおよび損失等（電話代、レンタカー代、宿泊費、休業補償、営業損失等）

脱着工賃

[ 1 6 ] セルシオ(UCF10.20) フロント脱着構成図

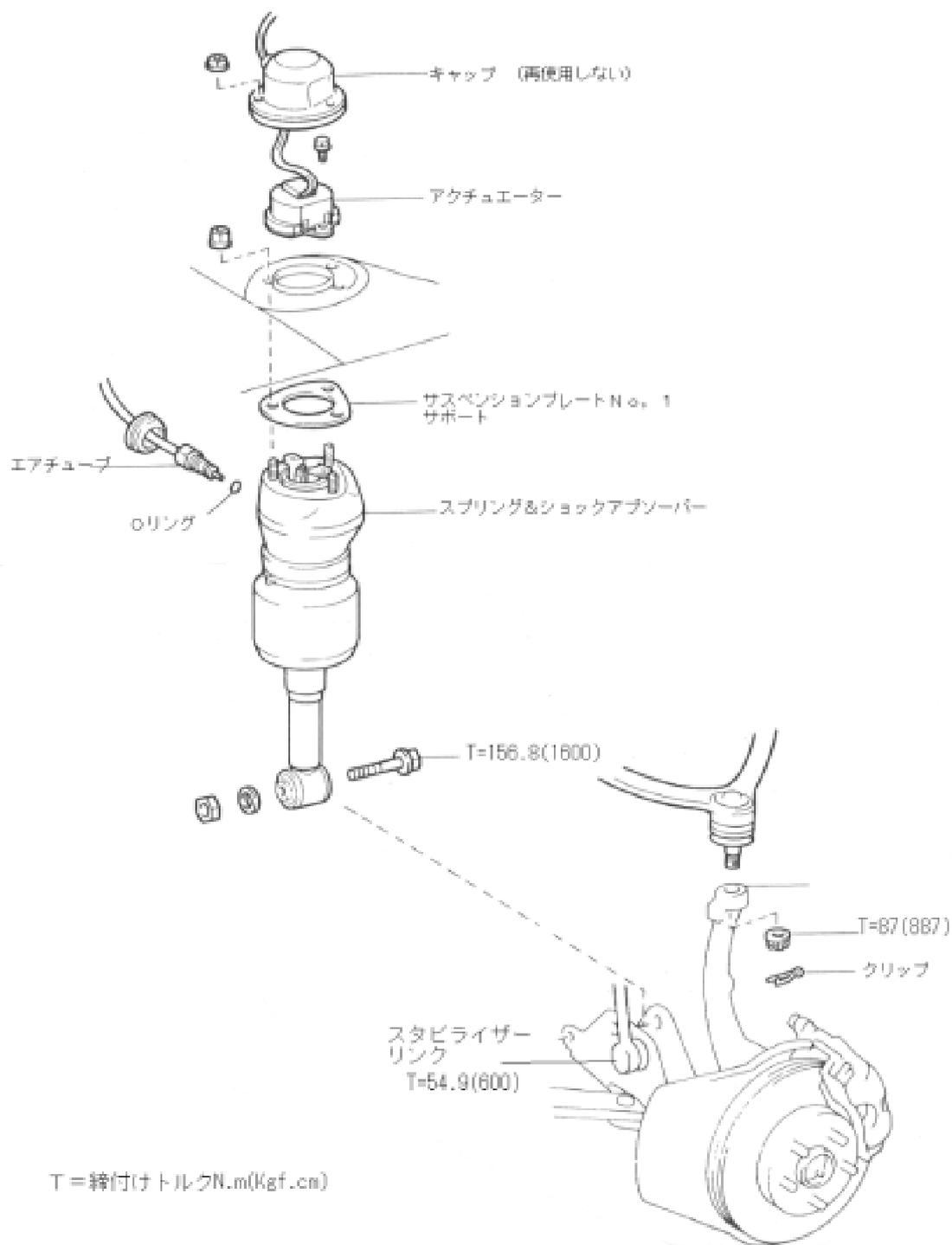


[ 1 7 ] セルシオ(UCF10.20) リヤ脱着構成図



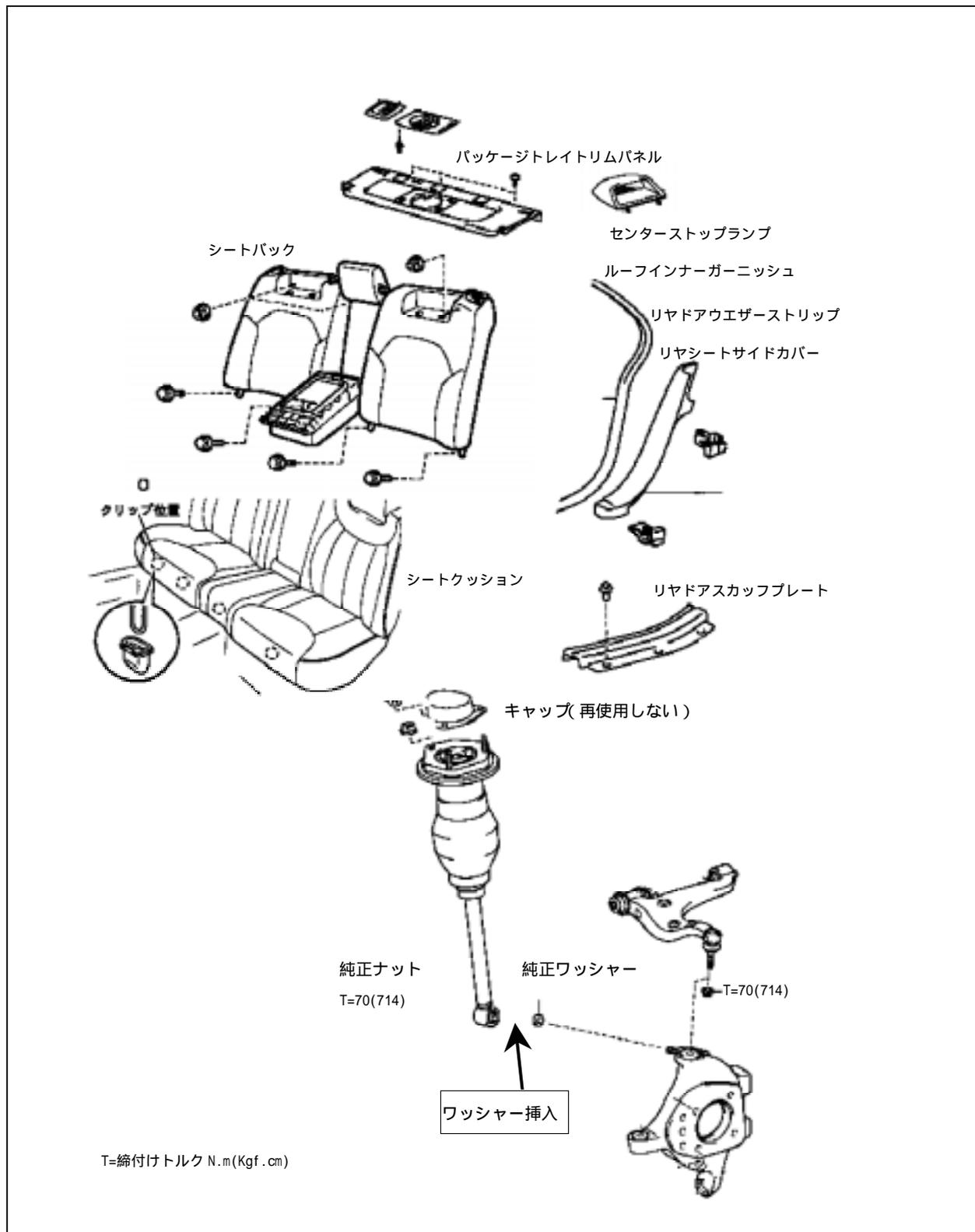
[ 1 8 ] セルシオ(UCF30) フロント脱着構成図

ハイトコントロール(ロードセンシング)センサーを脱着する場合は必ず「合いマーク」をつけ、取り付け時にあわせること(合わない場合「AFS」ランプが点灯する)



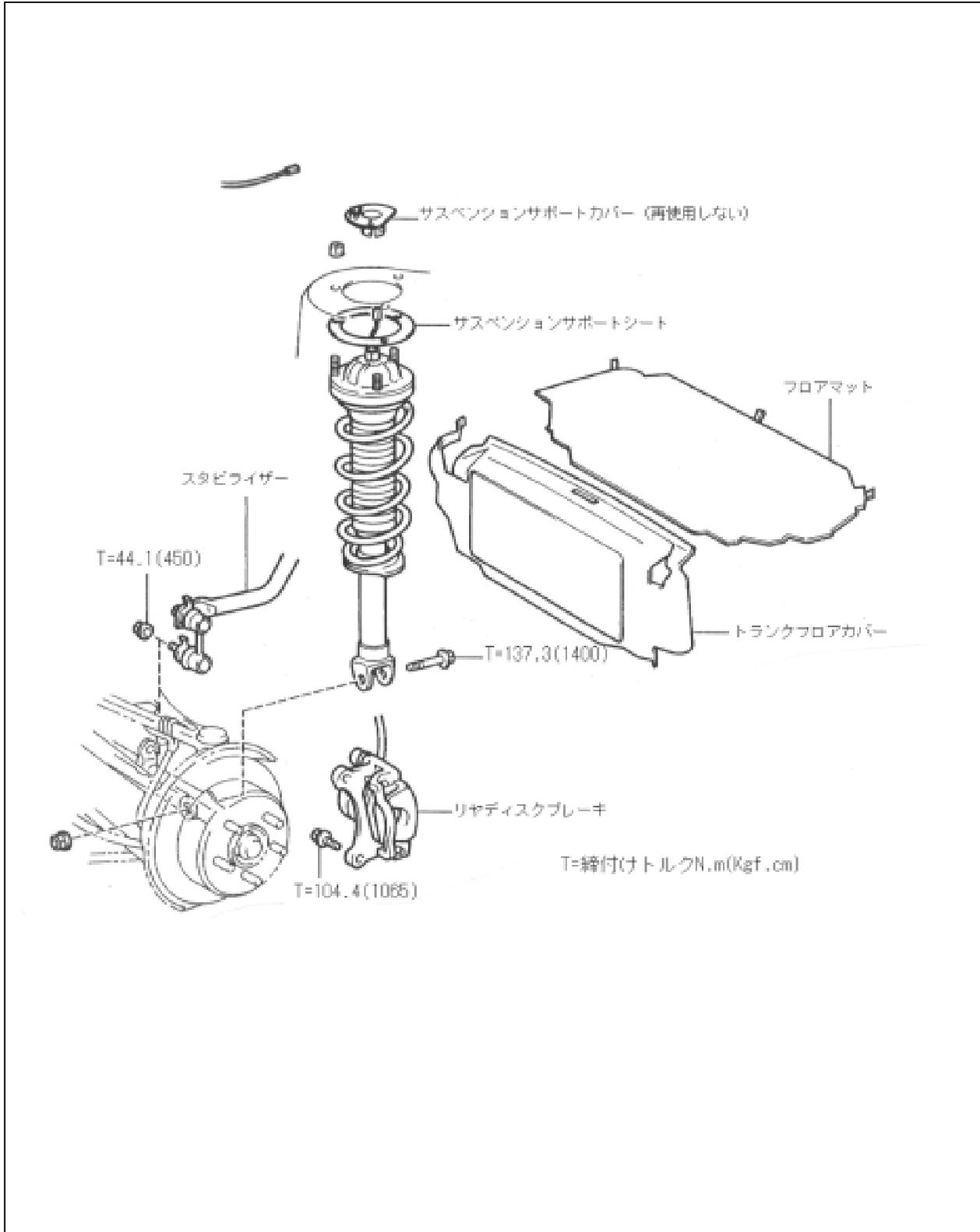
## [ 1 9 ] セルシオ(UCF30) リヤ脱着構成図

付属のワッシャーを下図の位置に取り付ける ( 純正ワッシャーも取り付ける )

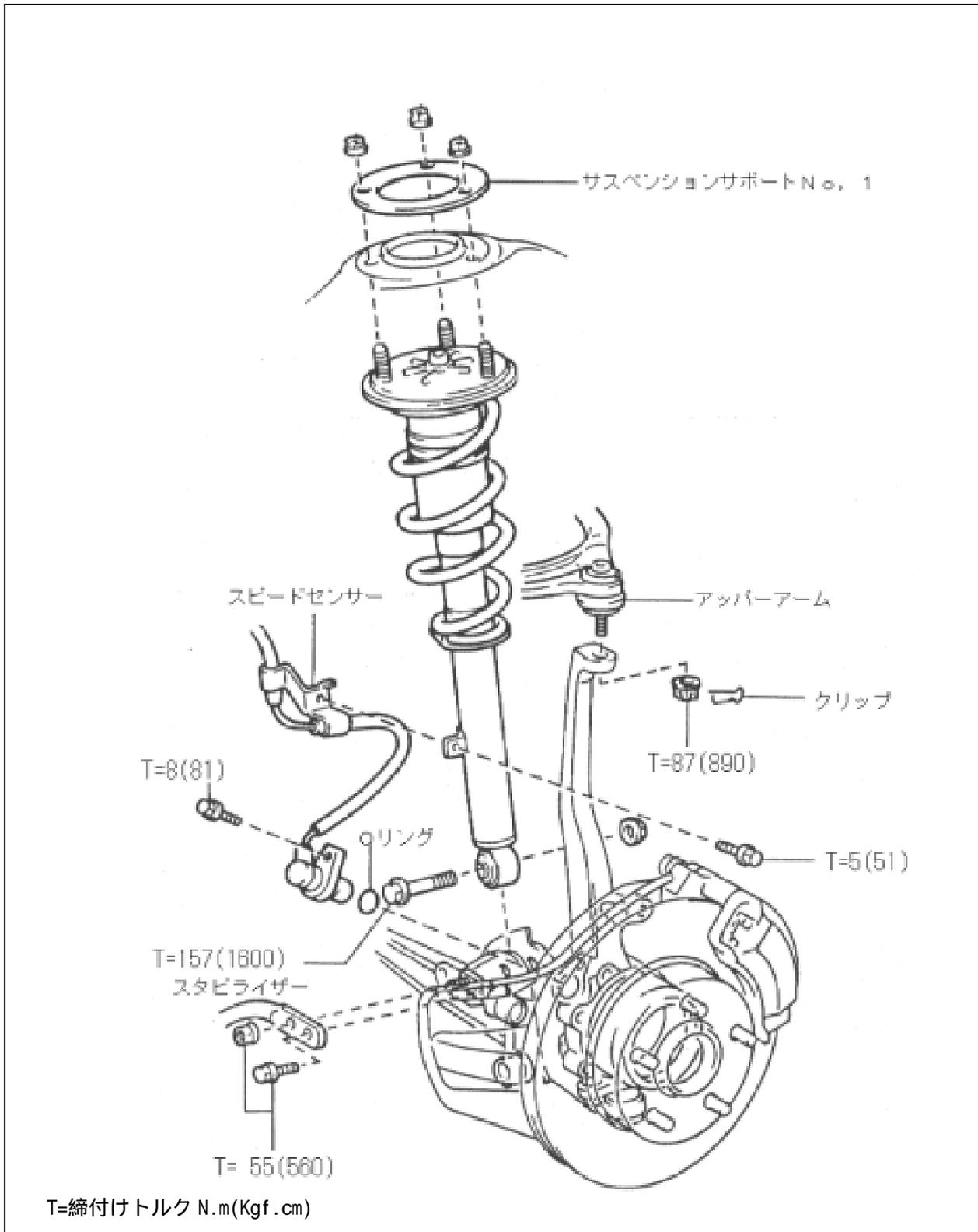




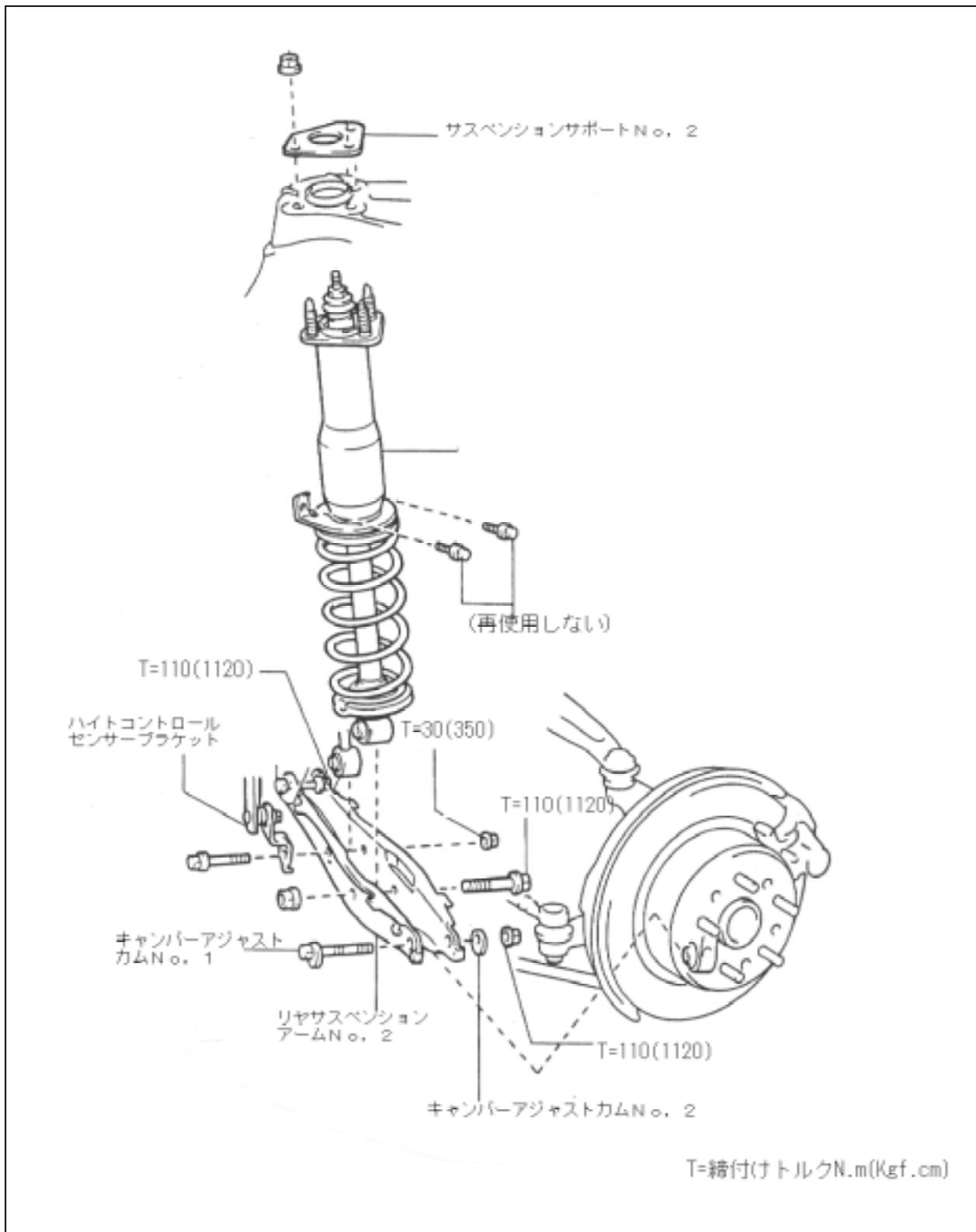
[ 2 1 ] アリスト・マジェスタ(#ZS14#、15#) リヤ脱着構成図



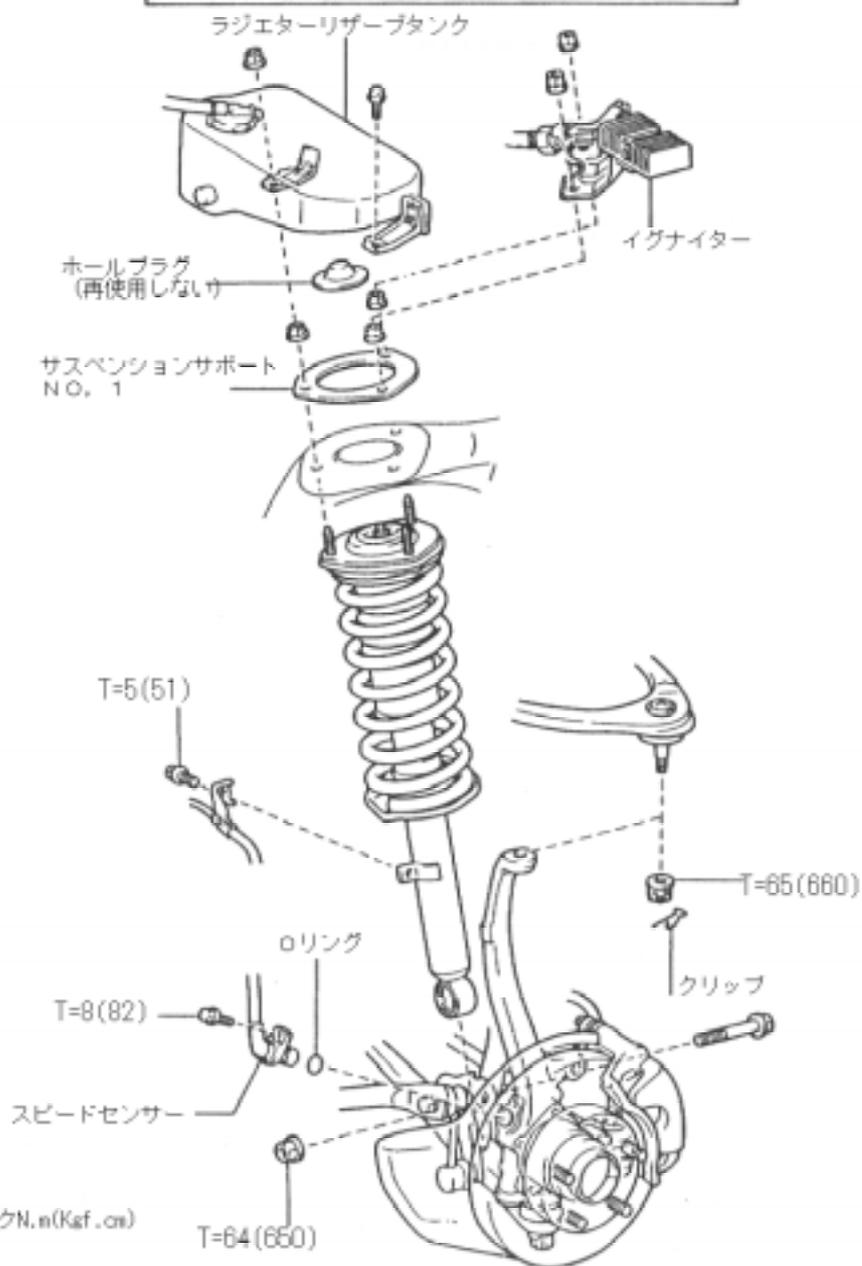
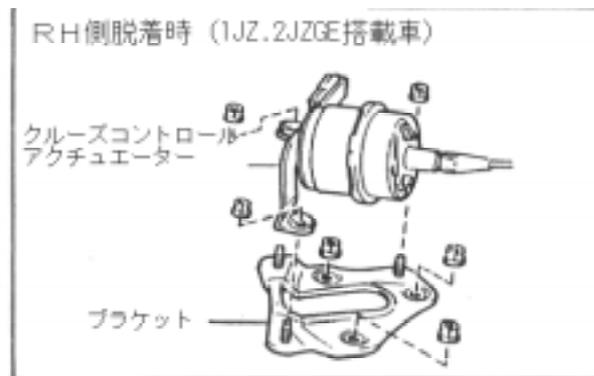
[ 2 2 ] アリスト(JZS16#)・マジェスタ(#ZS17#) フロント脱着構成図

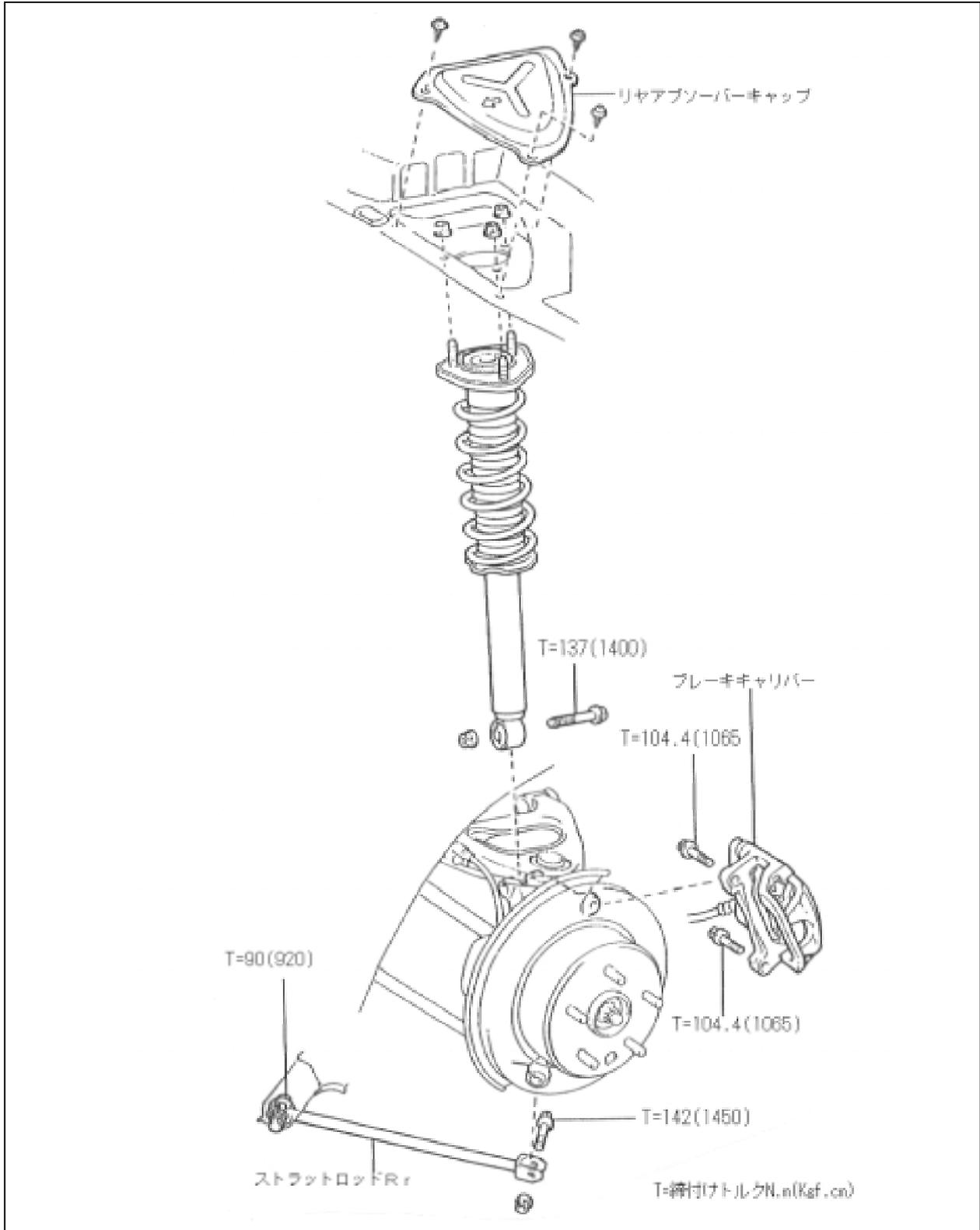


[ 2 3 ] アリスト(JZS16#)・マジェスタ(#ZS17#) リヤ脱着構成図

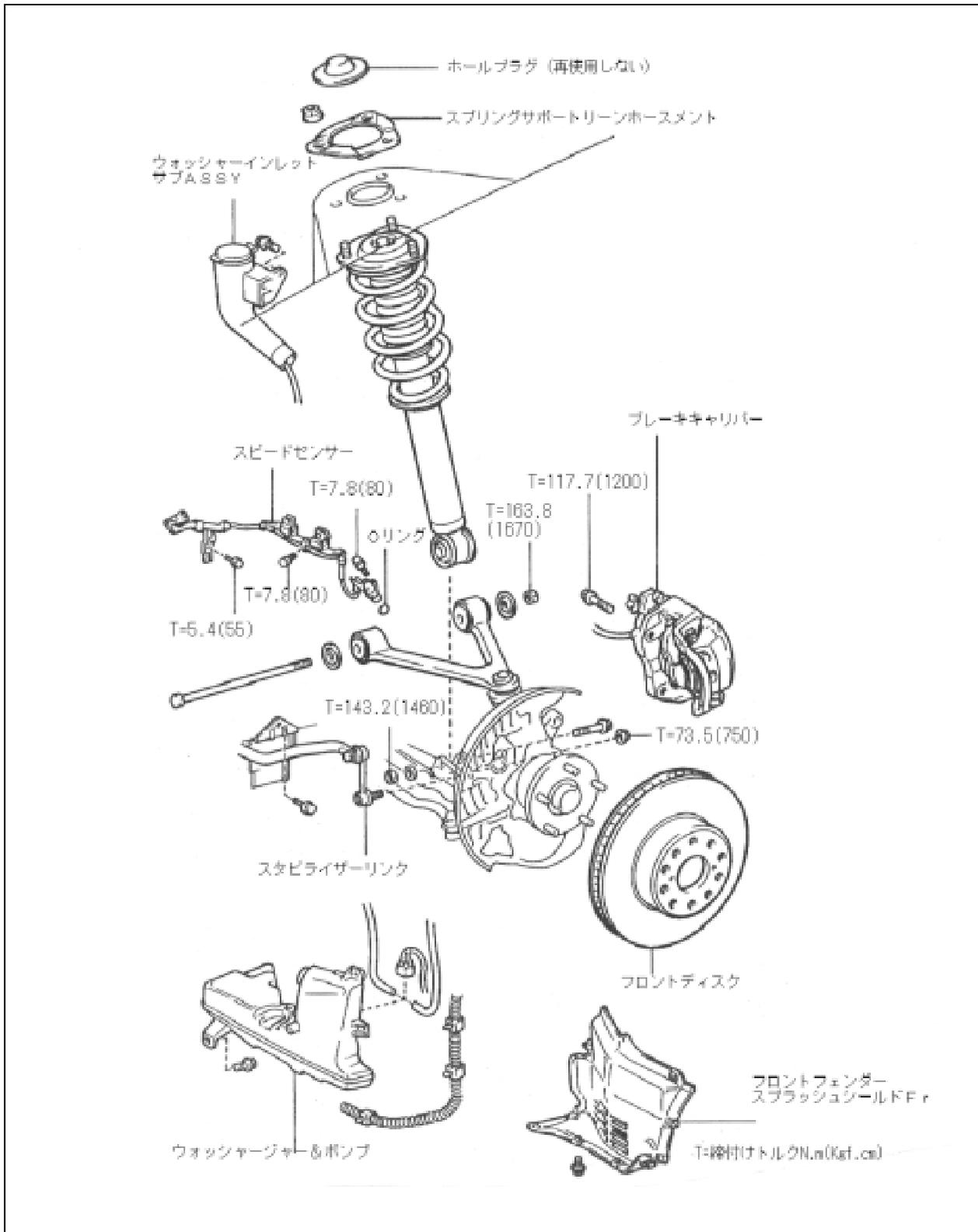


[ 2 4 ] クラウン(JZS15#) フロント脱着構成図

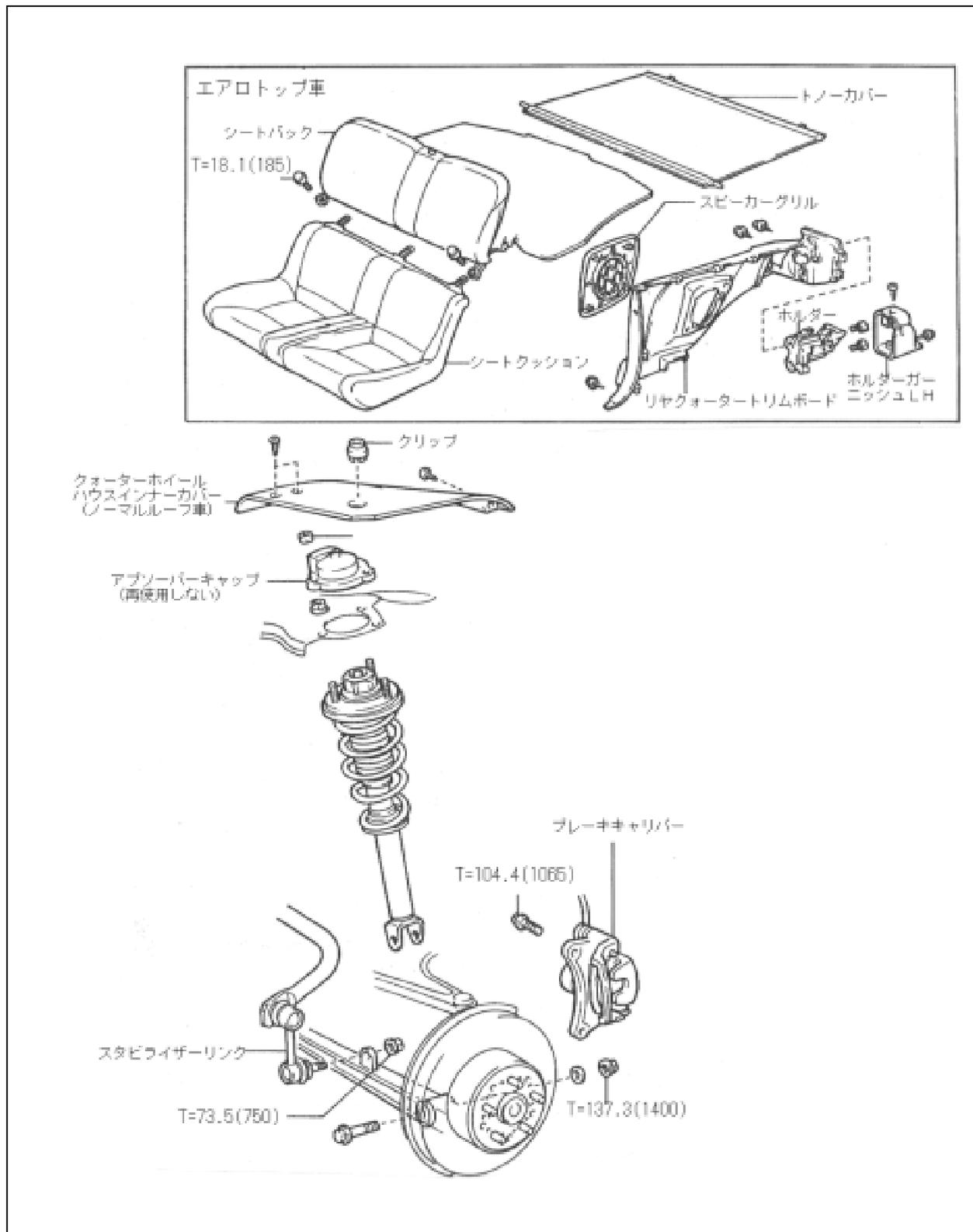


**[ 2 5 ] クラウン(JZS15#) リヤ脱着構成図**

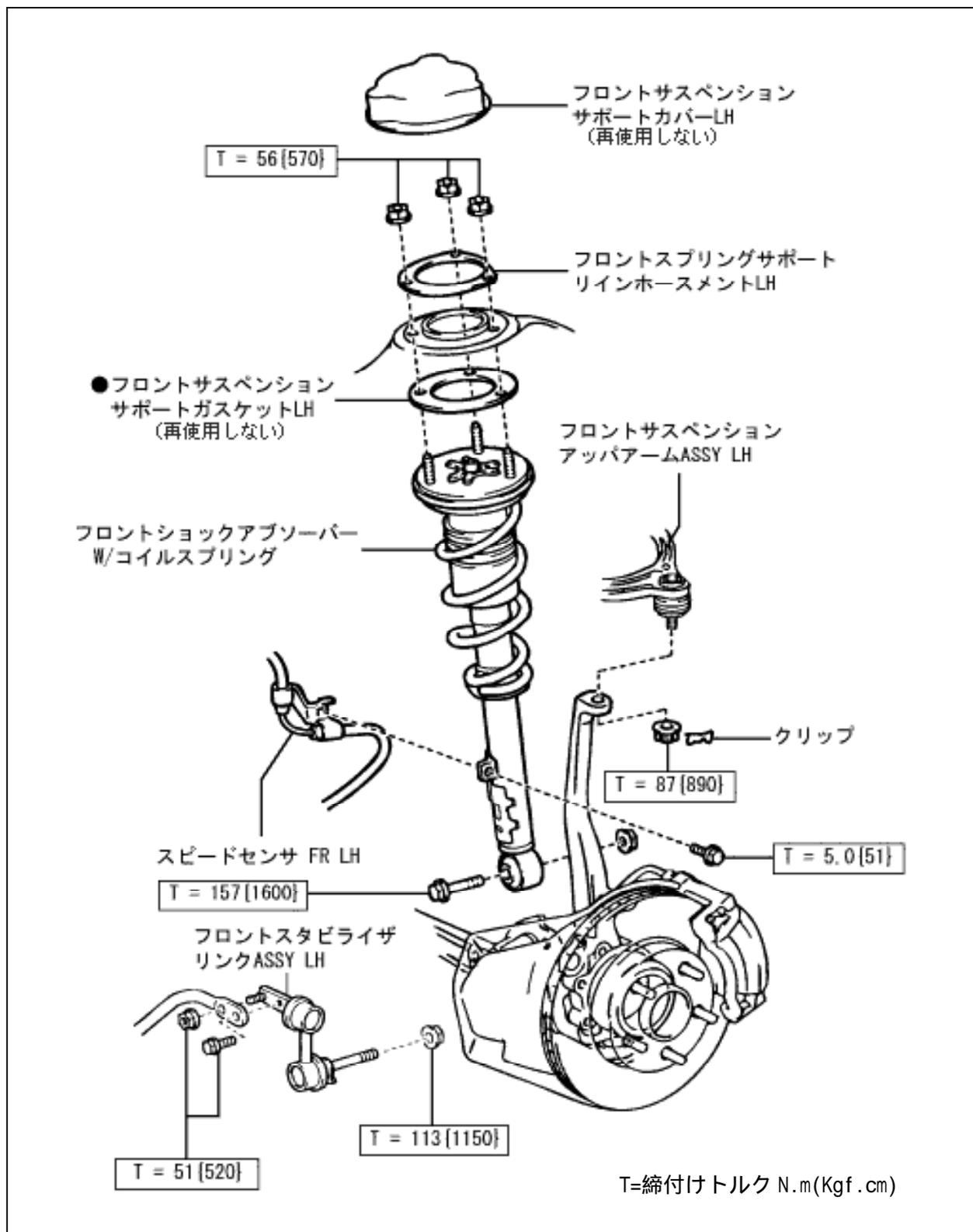
[ 2 6 ] ソアラ・スーブラ(JZZ3#・JZA80) フロント脱着構成図



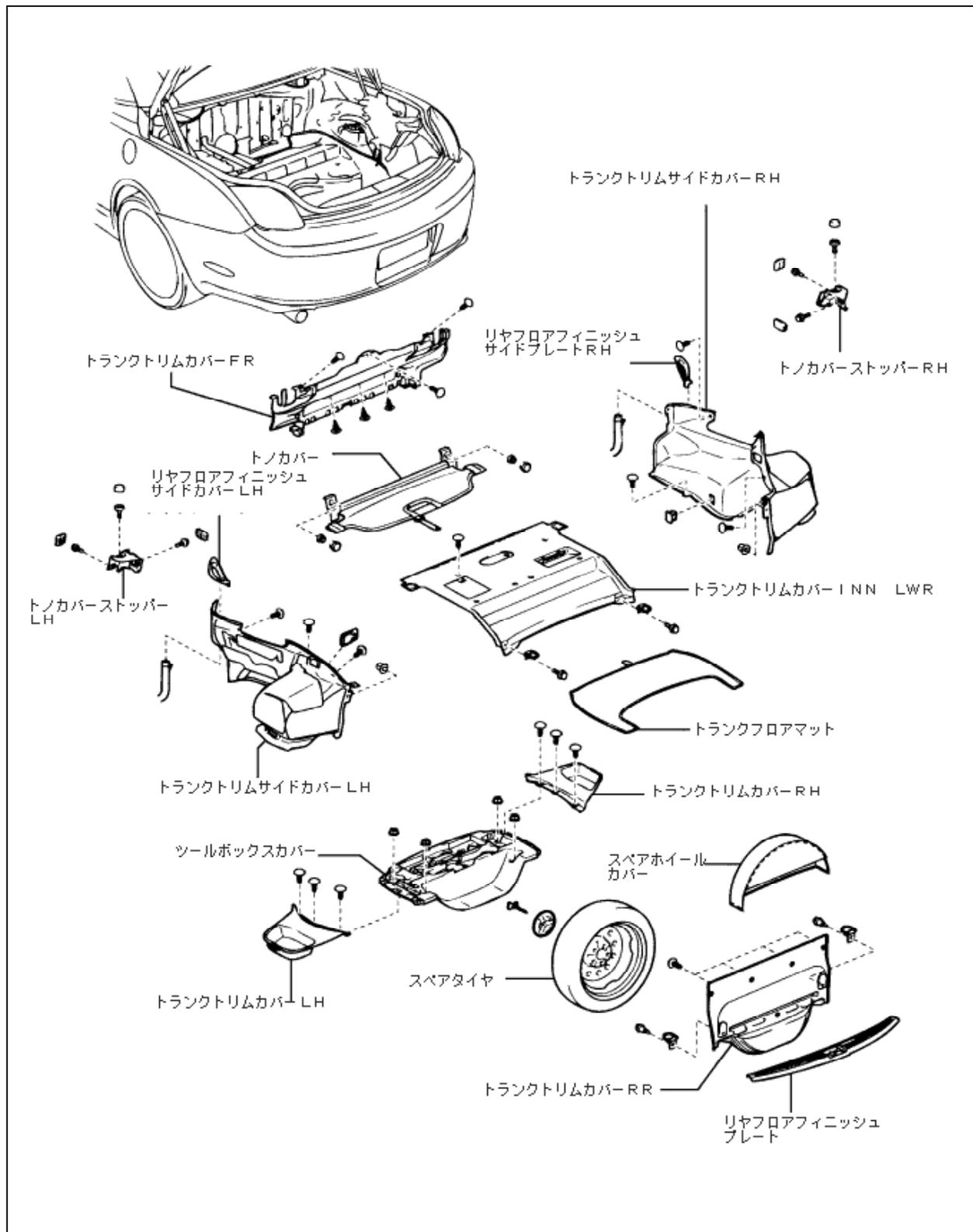
[ 2 7 ] ソアラ・スーブラ(JZZ3#・JZA80) リヤ脱着構成図



[ 2 8 ] ソアラ・S C 4 3 0 (UZZ40) フロント脱着着構成図

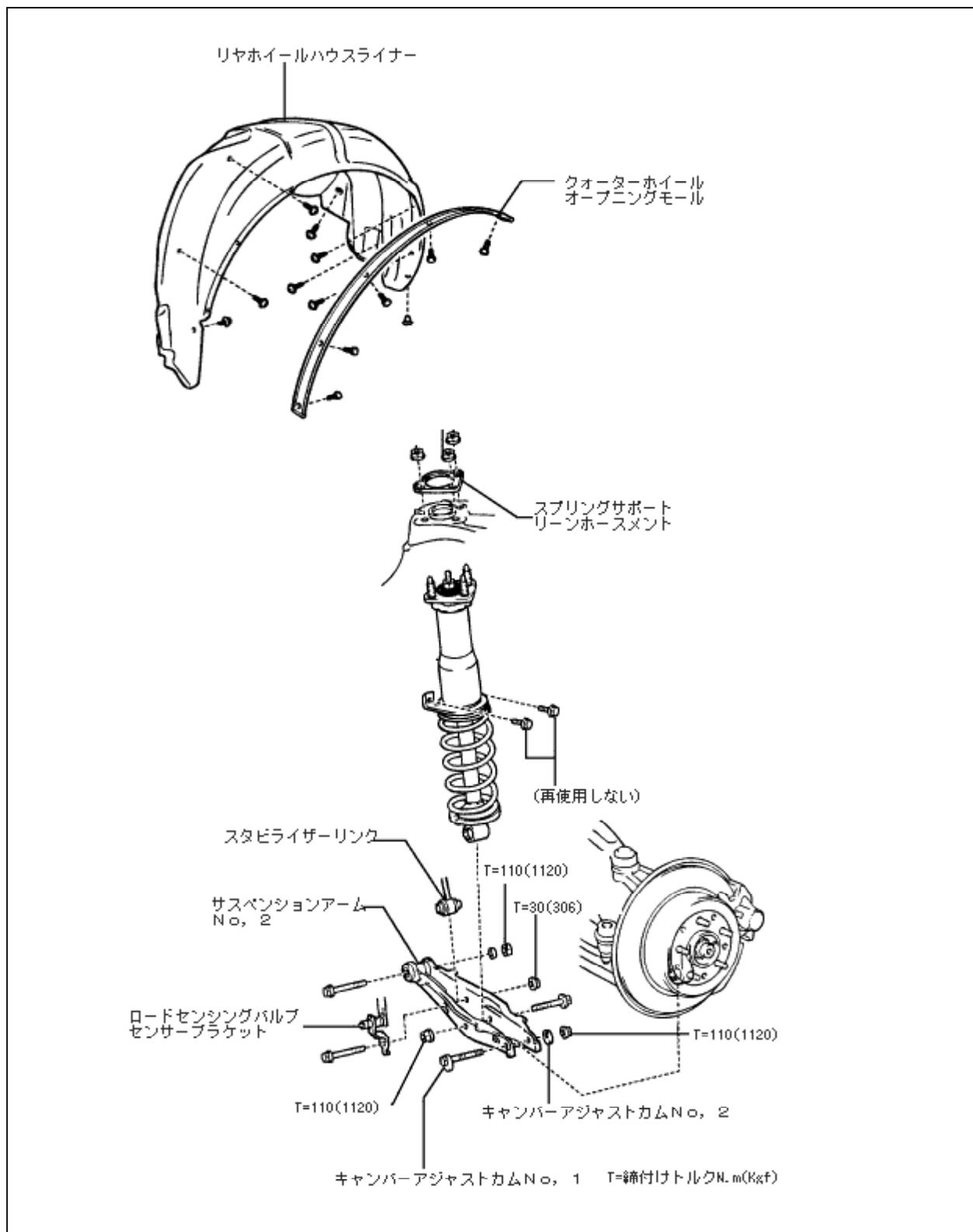


[ 2 9 ] ソアラ・S C 4 3 0 (UZZ40) リヤ脱着構成図

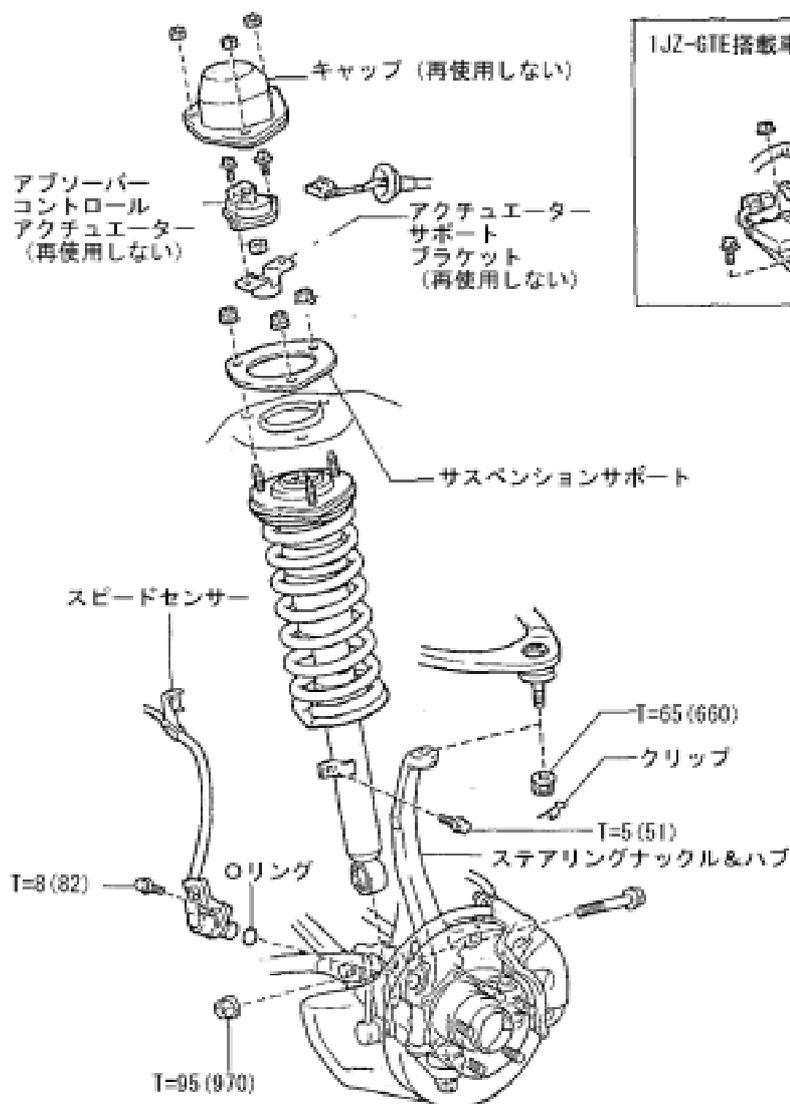
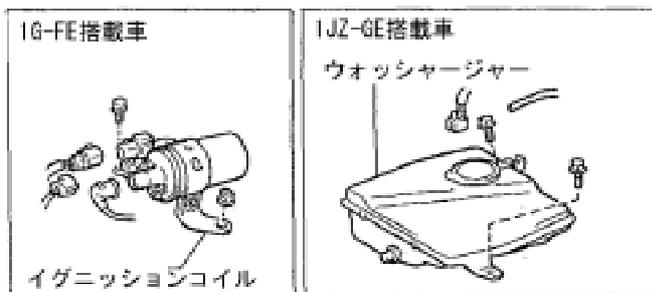


ハイトコントロール(ロードセンシング)センサーを脱着する場合は必ず「合いマーク」をつけ、取り付け時にあわせること(合わない場合「AFS」ランプが点灯する)

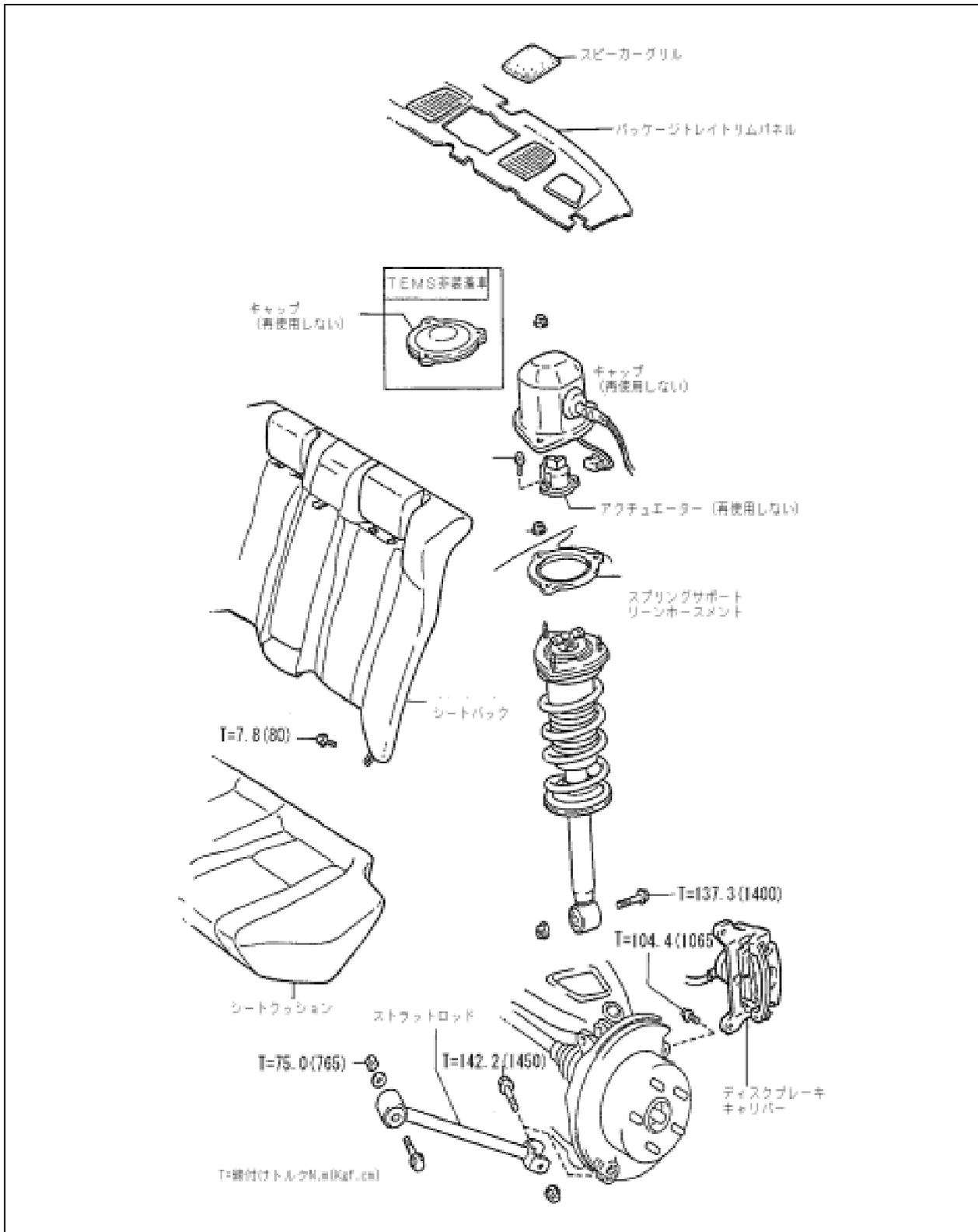
ライナーとダンパーが干渉する場合は、ライナーを修正する(押してすきまを確保する)



[ 3 0 ] マーク ・チェイサー ・クレスト(JZX9# 10#)フロント脱着構成図

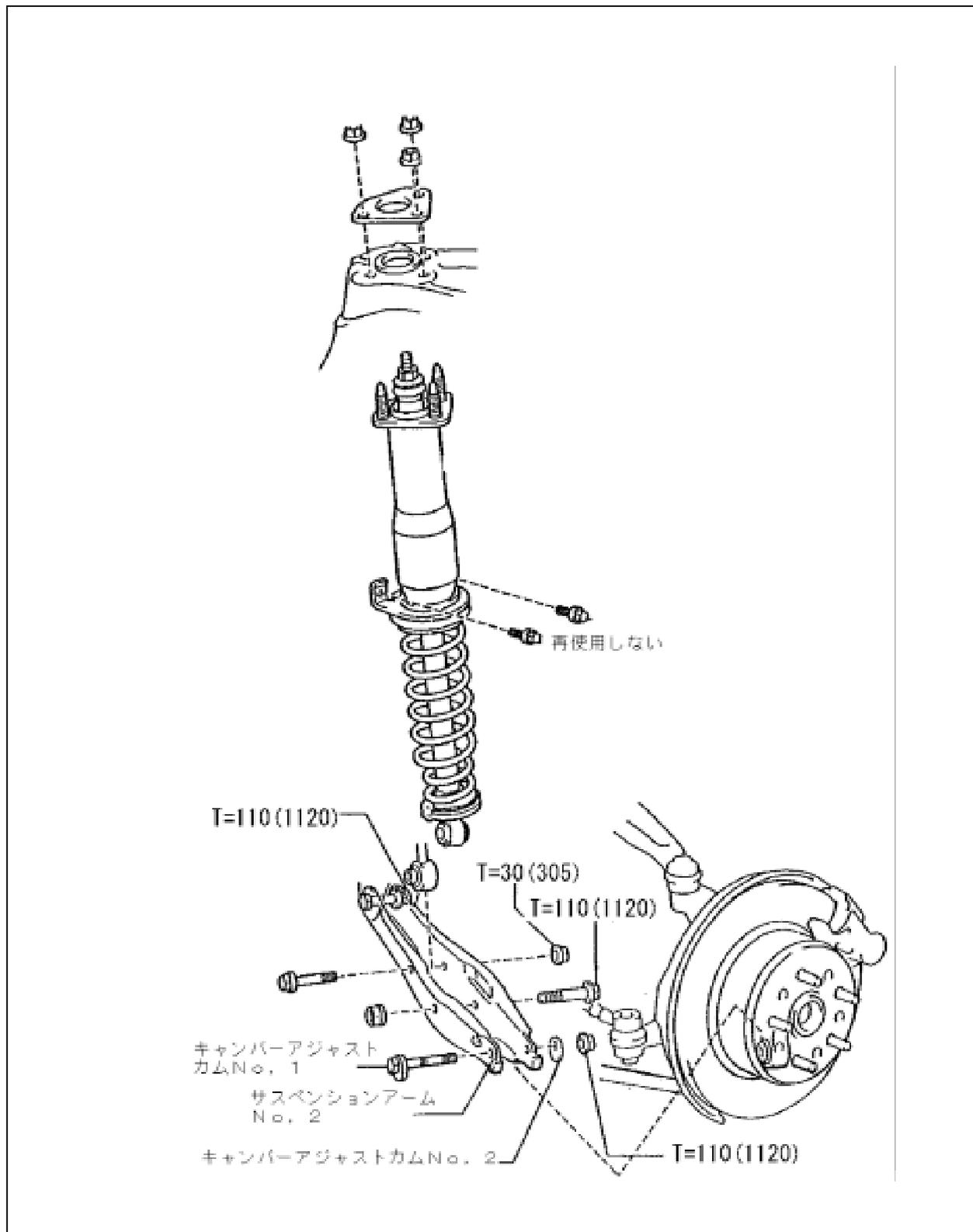


[3 1] マーク ・チェイサー ・クレスト(JZX9# 10#) リヤ脱着構成図



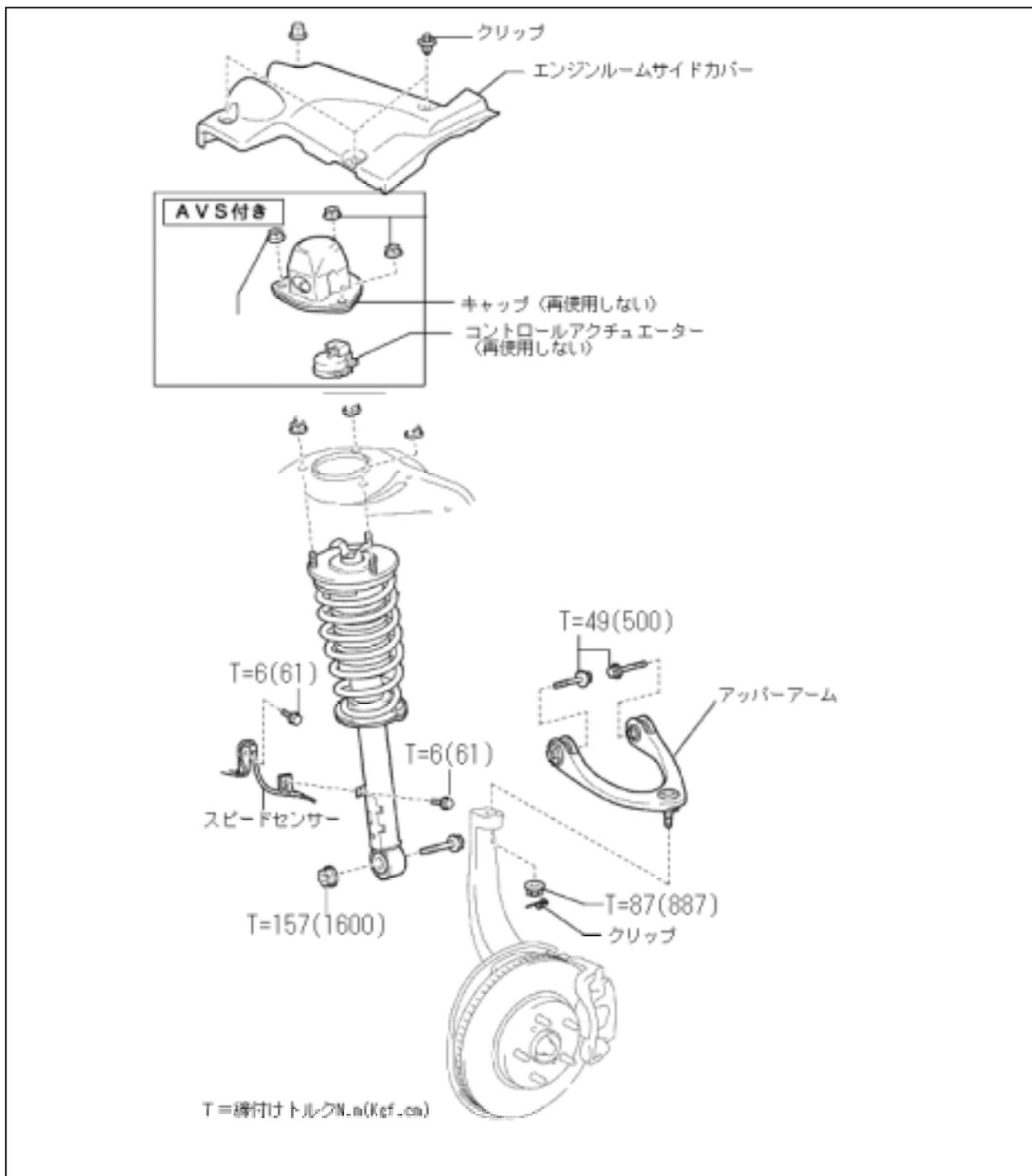


[3 3] クラウン(#ZS17#除くマジェスタ)・マーク ・ベロッサ(JZX11#)・プログレ・プレビス(JCG1#)・アルテツァ・ジータ(##E1#) リヤ脱着構成図



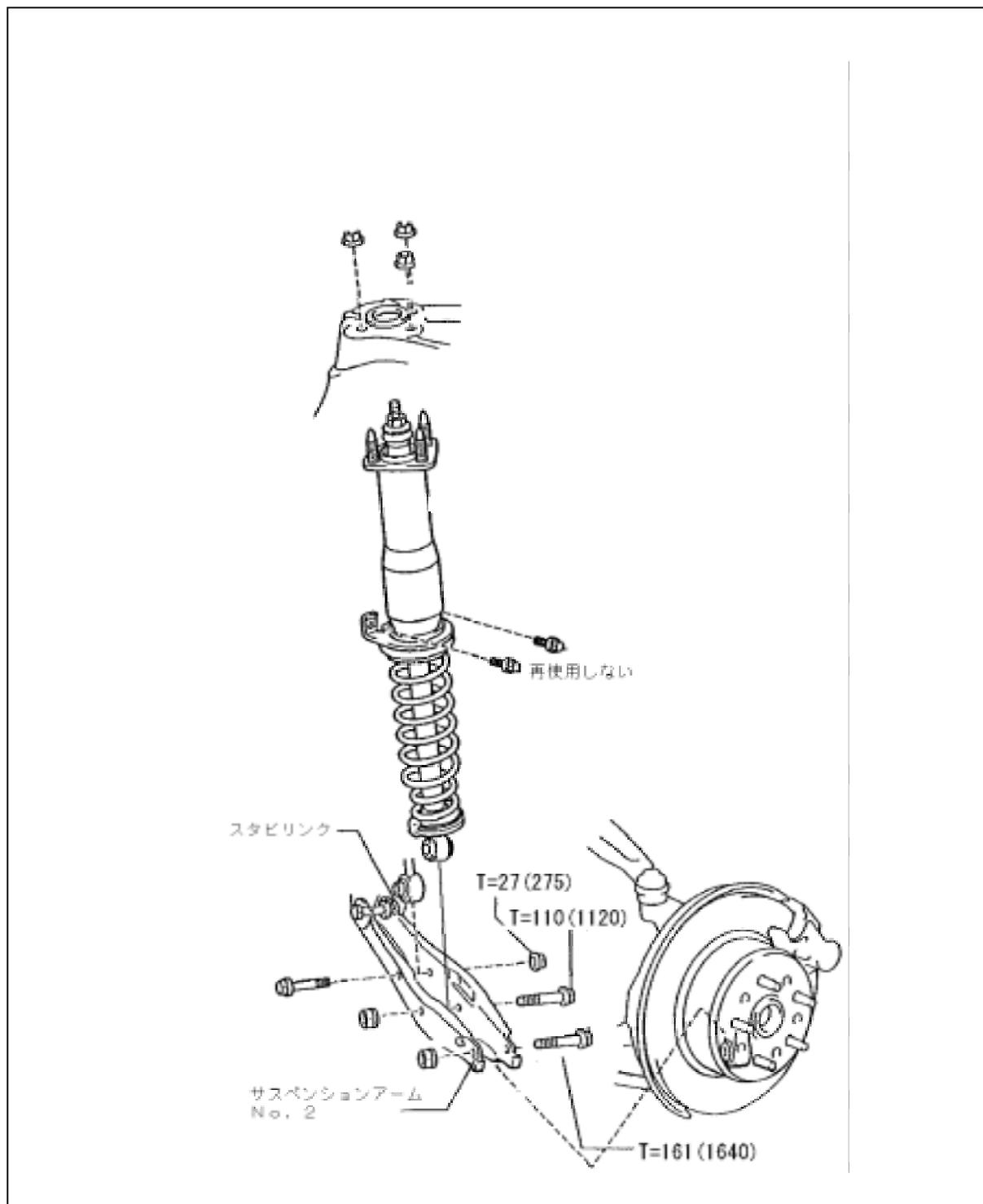
[3 4] クラウン(GRS18#)マーク X(GRX12#)G S (GRS19#) I S (GSE2#)フロント脱着構成図

アッパーアームは必ずアクスル側とボディ側両方はずす(スピードセンサーのハーネスが切れるため) AVSコネクターはタイラップなどでハーネスに固定する  
 ハイトコントロール(ロードセンシング)センサーを脱着する場合は必ず「合いマーク」をつけ、取り付け時にあわせること(合わない場合「A F S」ランプが点灯する)



[ 3 5 ] クラウン(GRS18#)マーク X(GRX12#)G S (GRS19#) I S (GSE2#)リヤ脱着構成図

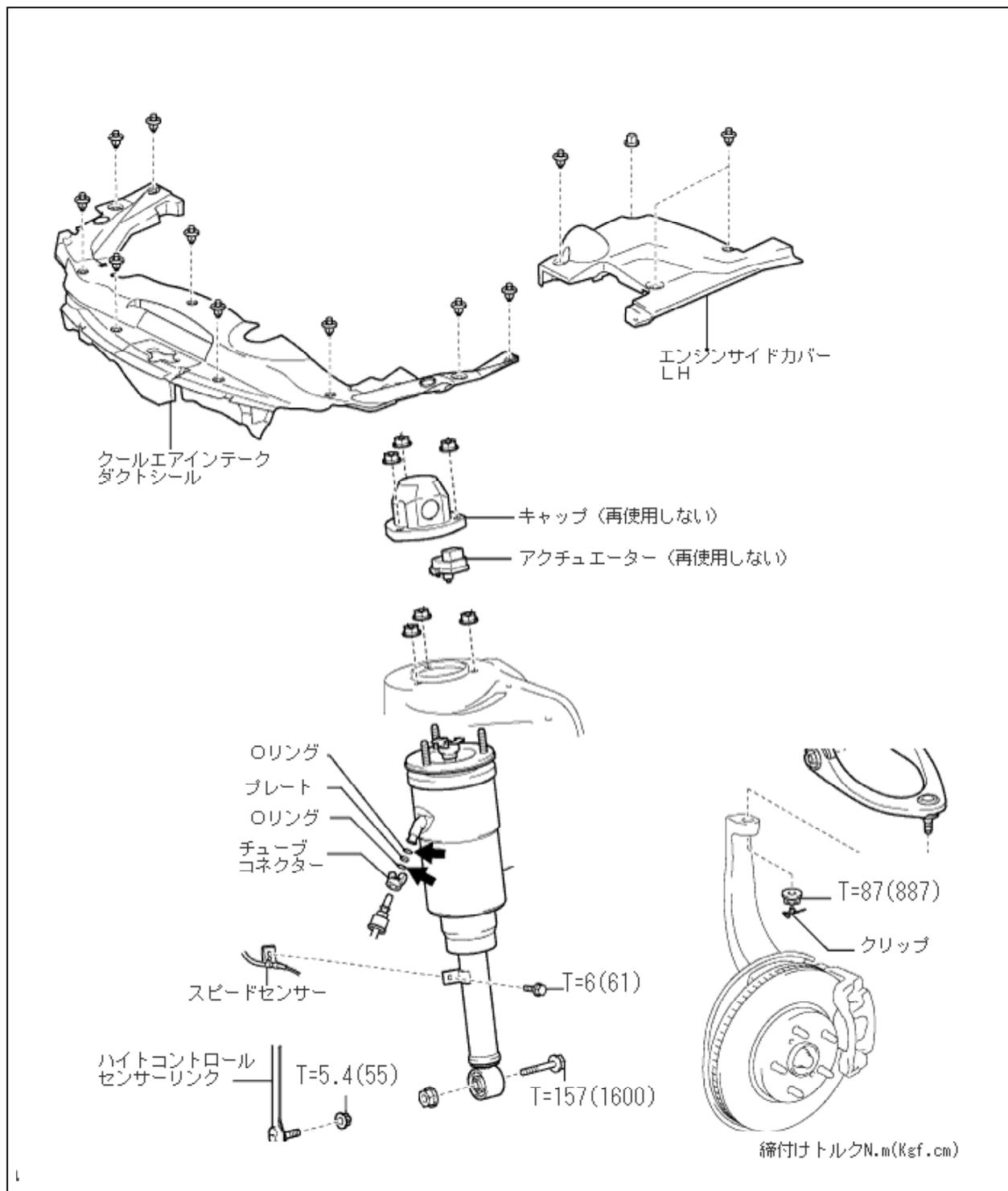
AVSコネクターはタイラップなどでハーネスに固定する  
 ハイトコントロール(ロードセンシング)センサーを脱着する場合は必ず「合いマーク」をつけ、取り付け時にあわせること(合わない場合「AFS」ランプが点灯する)



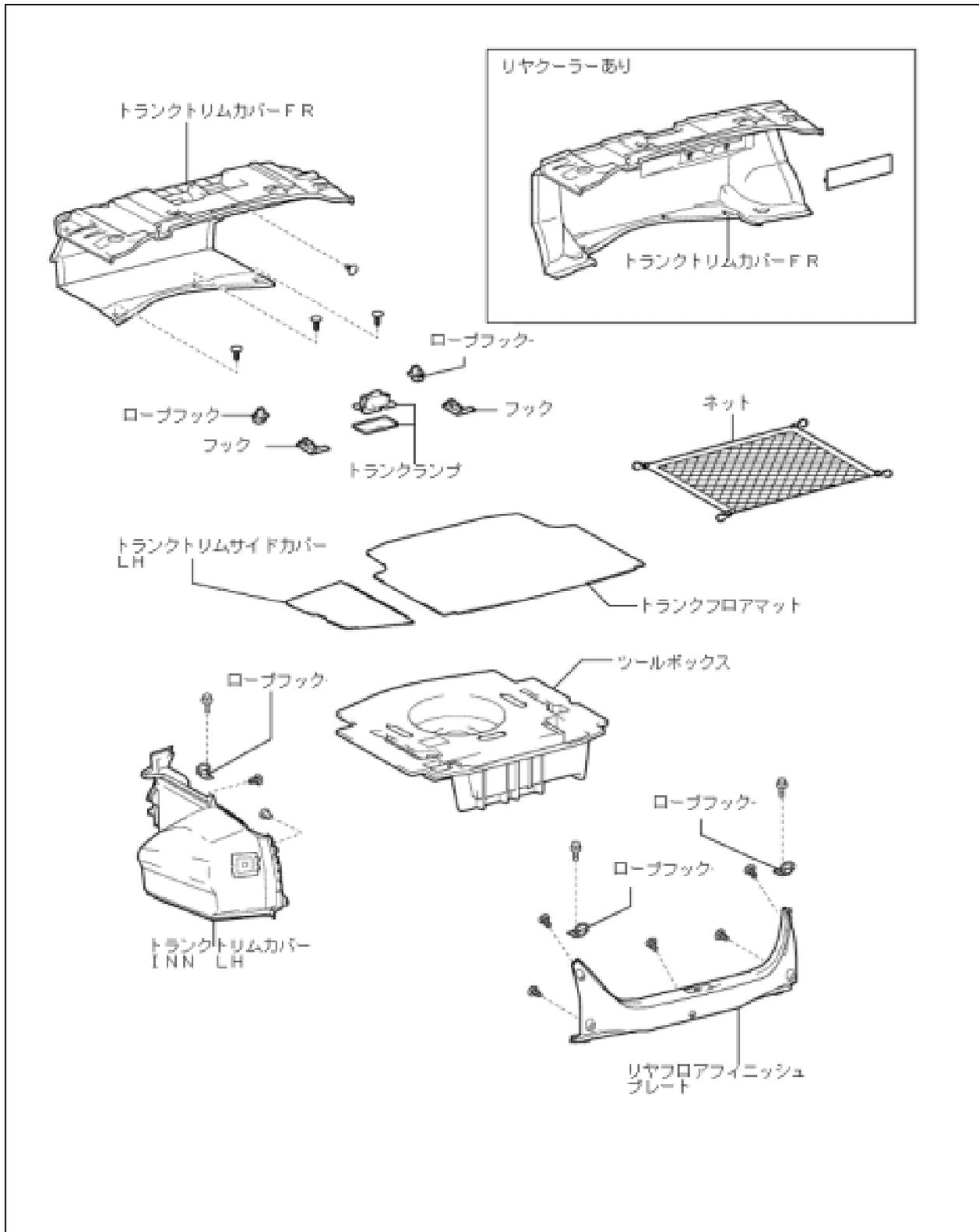
## [36] マジェスタ(UZS186) フロント脱着構成図

エアサスチューブコネクターの脱着はP 6を参照のこと。ヒューズははずさないこと。交換後エンジン始動でしばらくポンプが作動するが、数分で停止する

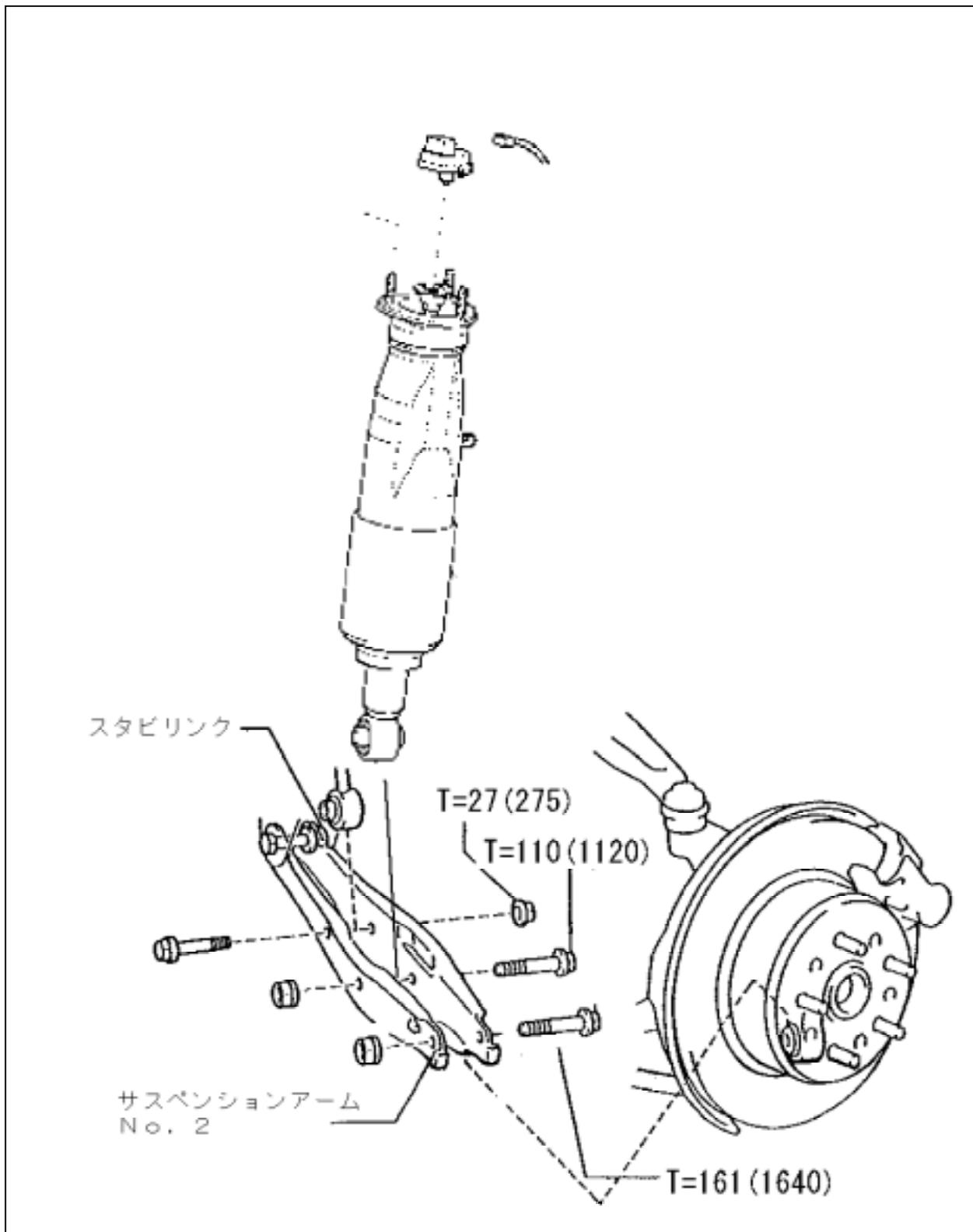
ハイトコントロール(ロードセンシング)センサーを脱着する場合は必ず「合いマーク」をつけ、取り付け時にあわせること(合わない場合「AFS」ランプが点灯する)



[ 3 7 ] マジェスタ(UZS186) リヤ脱着構成図



\_\_ハイコントロール(ロードセンシング)センサーを脱着する場合は必ず「合いマーク」をつけ、取り付け時にあわせること(合わない場合「AFS」ランプが点灯する)





【発売元】株式会社 トムス  
東京都世田谷区等々力6 - 13 - 10  
TEL 03 - 3704 - 6191

06 . 09 . 15 発行 Ver,5.1